

九割ハ暹羅米ノ占ムル所ニシテ而モ暹羅米中九割迄ハ碎米ナルヲ以テ結局輸入ノ約八割ハ碎米ヨリ成ル次第ナリ然ル處本邦ニ於テ右碎米ハ從來製餡麥酒釀造等ノ特殊工業原料トシテ使用セラレ來レルヲ以テ永ク之ガ使用ニ慣レタル之等工業家が右輸入抑止ニ依リ經濟上技術上甚大ナル打撃ヲ蒙リツツアル趣右關係業者ヨリ累次陳情シ來リ居ル次第ナルガ暹羅米ノ輸入解禁ハ内地特殊工業保護ノ見地ヨリ極メテ必要ナリト云フ

要スルニ暹羅米ノ輸入ニ對シ許可ヲ與ヘラルコトハ日暹間外交及經濟關係ヨリ見ルモ將又内地特殊工業上ノ見地ヨリ見極メテ緊要ナル問題ナルヲ以テ本邦ニ於ケル米穀需給上ノ考察モ亦極メテ緊要ナルベキハ篤ト諒解スルモ以上諸見地ヨリ少クトモ暹羅碎米ニ對シテハ今後輸入許可ヲ與ヘラルコトトスルコト緊要ナリト認メラル

(付箋)

本公信案ハ農林省当局ト内相談ノ上作成シタルモノニテ本公信

ニ對シ農林省側ハ折返シ出來ル丈ケ速ニ相当量ノ暹羅米ノ輸入許可方実現スベキ旨ノ回答ヲ送附シ來ルコトトナリ居レリ唯農林省側ニ於テハ内地米及暹羅米ノ價格ニ敏活ニ影響ヲ与フベキ事項ナルニ付本件ハ暹羅側及他ノ日本当局側ニ對シ嚴秘ニ附セラレ度旨線々モ依頼アリタリ。尙曩ニ起草シ商工大臣ニ相談中ノ閣議申請案ハ暫ラク其儘トスル所存ナリ

(付記二)

九米第五〇一七號

(12月17日接受)

昭和九年十二月十四日

農林次官 長瀬 貞一(印)

外務次官 重光 葵殿

暹羅碎米ノ輸入許可方ニ關スル件

首題ノ件ニ關シ昭和九年十二月八日附通二機密第六〇八號ヲ以テ照會相成候處右ニ付テハ當省ニ於テモ適當ノ時期ニ於テ米穀ノ市價ニ惡影響ヲ及ボサザル限度及方法ニテ考慮致度見込ニ有之候條右御諒知相成度此段及回答候也

日本外交文書

昭和期Ⅱ第二部第三卷
(昭和九年對歐米・國際關係)

日付索引

昭和期Ⅱ第二部第三卷
 (昭和九年対欧米・国際関係)
 日付索引

一月

事項 番号	文書 番号	日付	電信 番号	発信・受信者	件名	頁
四	142	昭和9年1月4日	三	在米国武富臨時代理大使より 広田外務大臣宛(電報)	米国大統領の議会演説について	197
八	434	昭和9年1月4日	二二六	沢田日印会商代表より 広田外務大臣宛(電報)	今次協定の形式問題に関する日印両代表部間 協議について	803
八	435	昭和9年1月4日	二二九	沢田日印会商代表より 広田外務大臣宛(電報)	インド側より今次協定中には対英特惠容認規 定を設けたいとの意向申出について	803
七	261	昭和9年1月5日	公六	在アレキサンドリア北田総領事より 広田外務大臣宛	「日埃貿易協会」の創立による日本・エジプト の貿易の発展を期待するとの同国関係者回報 について	427
八	426	昭和9年1月6日	一	付記 昭和八年十二月二十七日発広田外務大臣より在アレキサンドリア北田総領事 宛電報第三三三号 「日埃貿易協会」設立について 在シドニー村井総領事より 広田外務大臣宛(電報)	オーストラリア副首相来日報道に対する同副 首相来信について	428
八	436	昭和9年1月6日	一六四	付記 昭和八年十二月十六日発広田外務大臣より在シドニー村井総領事宛電報第五 〇号 オーストラリア副首相来日報道の真偽査報方訓令 広田外務大臣より 沢田日印会商代表宛(電報)	今次協定の有効期間および廃棄予告期間など について	804

八	437	昭和9年1月6日	二四六	沢田日印会商代表より 広田外務大臣宛(電報)	会商開始より今日までの日印間合意事項、我が方の印綿不買撤回および印度側の綿布関税引下げなどを議事録形式により公表について	804
	9	昭和9年1月8日	二	付記 一月七日公表 「千九百三十四年一月五日ノ會議ノ議事録」 広田外務大臣より 在ジュネーヴ横山国際会議事務局長代理兼総領事宛(電報)	麻薬製造制限条約への我が方留保方法につき連盟事務当局に問合わせ方訓令	30
七	317	昭和9年1月9日	四	付記一 昭和八年十二月九日発広田外務大臣より在ジュネーヴ横山国際会議事務局長代理兼総領事宛電報第九号 麻薬製造制限条約への我が方留保につき連盟事務総長をして締約国に照会方訓令 二 昭和八年十二月九日発広田外務大臣より在ジュネーヴ横山国際会議事務局長代理兼総領事宛電報第一〇号 右留保宣言 三 昭和八年十二月九日発広田外務大臣より在ジュネーヴ横山国際会議事務局長代理兼総領事宛電報第一一号 右連盟事務総長への書簡 在オランダ齋藤公使より 広田外務大臣宛(電報)	蘭印と日本の全般的通商関係調整のための会議開催などに関するオランダ外務大臣書簡につき外務次官に問合せについて	31 31 32
八	427	昭和9年1月9日	一	別電 一月十日発在オランダ齋藤公使より広田外務大臣宛第五号 右オランダ外務大臣書簡訳文 広田外務大臣より 在シドニー村井総領事宛(電報)	在本邦英国大使へのオーストラリア副首相来日に対する我が方歓迎の意表明について	545 771
	184	昭和9年1月10日	五	付記一 作成日不明、通商局第一課作成 「濠洲聯邦ヨリノ親善使節來訪ニ對スル件」 二 作成日、作成局課不明 「レイサム」來朝ノ際日濠政治關係ニ付先方ニ説示スヘキ事項」		772 776
六	244	昭和9年1月10日	六	三 起案日不明、欧米局第二課起案高裁案 「濠洲聯邦親善使節『レイサム』外相一行ノ來朝ニ對スル待遇振ニ關スル件」 広田外務大臣より 齋藤内閣総理大臣宛 在吉林森岡総領事より 広田外務大臣宛	日英協調の必要を説く英国外相より我が方外相へのメッセージについて 北滿鉄道吉林商務事務所の閉鎖にともなう同營業所ソ連人職員のハルビンへの引揚げについて 日印会商合意内容および日英会商への対処方などに関するマンチェスター商業會議所日英会商特別委員会声明について	255 394 779
八	412	昭和9年1月10日 (移牒四五七)	八	在英國松平大使より 広田外務大臣宛(電報)		738
	438	昭和9年1月11日	八	付記一 一月二十七日着在英國松平大使より広田外務大臣宛電報(電報番号不明) 日英間の綿製品貿易問題に対する英國商相見解および同見解に対する英國紙論調 二 一月三十一日着在英國松平大使より広田外務大臣宛電報(電報番号不明) 我が方との綿製品貿易摩擦問題に対しさらなる積極策を採るべきとの右會議所特別總會決議について		739 741
六	216	昭和9年1月13日	六	沢田日印会商代表より 広田外務大臣宛(電報) 広田外務大臣より 在ソ連邦大田大使宛(電報)	我が方代表部作成の条約文案インド代表部へ送付について 共産党中央委員会におけるリトヴィノフ等の演説に關しソ連当局の注意喚起方訓令	811 323
	439	昭和9年1月13日	八	付記一 昭和八年十二月二十九日発在ソ連邦大田大使より広田外務大臣宛電報第六五号 共産党中央委員会におけるモロトフ演説中対日關係部分について 二 昭和八年十二月三十一日発在ソ連邦大田大使より広田外務大臣宛電報第六六号 共産党中央委員会におけるリトヴィノフ演説中対日關係部分について 沢田日印会商代表より 広田外務大臣宛(電報)	インド側作成の条約文案における対英特惠条項について	324 325 811

四	六	二	二	六	四	二	二	八	三
144	218	15	14	248	143	13	12	441	66
昭和9年1月21日	昭和9年1月20日	昭和9年1月19日	昭和9年1月19日	昭和9年1月18日	昭和9年1月18日	昭和9年1月18日	昭和9年1月18日	昭和9年1月17日	昭和9年1月17日
五六	三五	二三	七	機密六一	四四	二〇	一九	二七四	四
在米国武富臨時代理大使より 広田外務大臣宛(電報)	在ソ連邦大田大使より 広田外務大臣宛(電報)	在ジュネーヴ横山国際会議事務局長代 理兼総領事より 広田外務大臣宛(電報)	別電 一月十九日発 広田外務大臣より在ジュネーヴ横山国際会議事務局長代理兼総領事宛第八号 右宣言案	在奉天峰谷総領事より 広田外務大臣宛	在米国武富臨時代理大使より 広田外務大臣宛(電報)	在ジュネーヴ横山国際会議事務局長代 理兼総領事より 広田外務大臣宛(電報)	在ジュネーヴ横山国際会議事務局長代 理兼総領事より 広田外務大臣宛(電報)	在ポーランド伊藤公使より 広田外務大臣宛(電報)	在ポーランド伊藤公使より 広田外務大臣宛(電報)
米国世論の対日観と議会の対日動向について……………	日ソ関係改善に対してソ連側は我が方からの具体的な動きを期待しているとの観測について……………	満州国へのアヘン輸出に関する連盟アヘン諮問委員会報告案の理事会などにおける審議状況につきアヘン部長の内話について……………	樞密院側の意図に鑑み麻薬製造制限条約宣旨付批准とする場合の連盟事務局側意見聴取方訓令……………	北満鉄道奉天運輸営業所は閉鎖せず業務縮小にとどめたいとのソ連側意向について……………	米国極東政策の主要原則に関する國務省極東部長演説について……………	満州国へのアヘン輸出に関する連盟理事会への報告案に対する中国側修正案に対しアヘン部長に注意喚起について……………	満州国へのアヘン輸出に関する連盟理事会へのアヘン諮問委員会報告案に対し中国側修正要求について……………	対英特惠案を条約案中より削減すべき旨インド側へ申入れについて……………	独・ポーランド接近問題等につき在ポーランド各国大使より聞込みについて……………
199	331	38	37	398	198	36	35	813	103

六	六	六	六	二	八	二	二	六	六
247	246	245	217	11	440	10	別電	二	二
昭和9年1月16日	昭和9年1月16日	昭和9年1月16日	昭和9年1月16日	昭和9年1月16日	昭和9年1月15日	昭和9年1月15日	一月十三日発 沢田日印会商代表より広田外務大臣宛第二七〇号 右对英特惠案項	昭和9年1月16日	昭和9年1月15日
四二	四一	一八	一七	二二	一九〇	一一	別電	四二	四一
在満州国菱刈大使より 広田外務大臣宛(電報)	在満州国菱刈大使より 広田外務大臣宛(電報)	在ソ連邦大田大使より 広田外務大臣宛(電報)	在ソ連邦大田大使より 広田外務大臣宛(電報)	在ジュネーヴ横山国際会議事務局長代 理兼総領事より 広田外務大臣宛(電報)	広田外務大臣より 沢田日印会商代表宛(電報)	在ジュネーヴ横山国際会議事務局長代 理兼総領事より 広田外務大臣宛(電報)	一月十三日発 沢田日印会商代表より広田外務大臣宛第二七〇号 右对英特惠案項	在満州国菱刈大使より 広田外務大臣宛(電報)	在満州国菱刈大使より 広田外務大臣宛(電報)
北満鉄道譲渡交渉再開に向けて民衆による無秩序な示威運動は取締まる旨報告……………	一月十三日発在ハルビン小松原特務機関長より植田参謀次長宛電報哈第六四号……………	一月十三日発在ハルビン小松原特務機関長より植田参謀次長宛電報哈第六一號……………	北満鉄道運賃下げのための示威運動が同鉄道ソ連側当局へ与えた影響について……………	北満鉄道運賃下げのための示威運動について……………	付記一 一月十三日発在ハルビン小松原特務機関長より植田参謀次長宛電報哈第六一號……………	逮捕中の北満鉄道ソ連側職員釈放問題などに つき我が方外務大臣と在本邦ソ連邦大使間の 会談実施につき意見具申……………	条約文中に対英特惠規定を設けたいとのイン ド側提議を拒絶すべき旨訓令……………	麻薬製造制限条約の我が方留保に関し意見具 申……………	被拘禁中の北満鉄道ソ連側従業員は同鉄道の 渡渉再開に向け政治的見地より近く釈放の 見込みとの谷参事官からの報告について……………
……………	……………	……………	……………	……………	……………	……………	……………	……………	……………
397	396	395	395	395	328	34	812	32	812

八	445	昭和9年2月(3)日	三一四	沢田日印会商代表より 広田外務大臣宛(電報)	申	対英特惠条項および仲裁裁判条項削除要求を インド側が受入れる見込無きためこれら条項 については英本国と直接交渉すべき意見具 呈	819
八	444	昭和9年2月(3)日	三二三	沢田日印会商代表より 広田外務大臣宛(電報)		対英特惠条項および仲裁裁判条項削除方我が 方申出に対するインド側回答について	818
九	481	昭和9年2月2日	八	付 記 作成日、作成局課不明 「移民情報」掲載の排日法案成立経緯一覽表			875
八	414	昭和9年2月2日	(移購五三七)	広田外務大臣より 在英国松平大使宛(電報)		我が方日英会商特別委員会の設置について	743
五	185	昭和9年2月1日		齋藤内閣総理大臣宛		移民の入国を制限する条項案の阻止措置につ きサン・パウロ総領事とも協議の上回電方訓 令	874
三	67	昭和9年2月1日	一〇	在ポーランド伊藤公使より 広田外務大臣宛(電報)		独・ポーランド不可侵条約の裏面事情および 関係諸国への影響につきベック外相ならびに 在ポーランド各国大公使より聞込みについて	104
八	413	昭和9年1月31日	三八	在英国松平大使より 広田外務大臣宛(電報)		英国外相からのメッセージに対し謝意を伝え る我が方大使の電報について	259
八	393	昭和9年1月30日	三四	在英国松平大使より 広田外務大臣宛(電報)		来るべき日英会商の日本側代表者決定の報を 受け同会商は近く開催の運びとなるとの英国 商務次官言明について	743
九	480	昭和9年1月27日	一七	在サン・パウロ内山総領事より 広田外務大臣宛(電報)		マンチェスター商業会議所による最惠国条款 廃棄を企図した同条款検討委員会設置方建言 には賛成しえずとの英国商相見解について	712
		二月				状況悪化傾向にある当国排日法案問題につい て在本邦ブラジル大使に外務次官より注意喚 起方稟請	873

八	443	昭和9年1月27日	二八八	沢田日印会商代表より 広田外務大臣宛(電報)		インド側条約案中の対英特惠条項および仲裁 裁判条項の削除方などに関するインド首席代 表との協議について	817
八	442	昭和9年1月26日	二八七	沢田日印会商代表より 広田外務大臣宛(電報)		インド側条約案中には対英特惠規定に加え仲 裁裁判条項など我が方が容認し得ない条項が 設定されている旨報告	814
一	5	昭和9年1月26日	四六	在ソ連邦大田大使より 広田外務大臣宛(電報)		ソ連邦各紙論調について	18
一	4	昭和9年1月26日	五九	在中国有吉公使より 広田外務大臣宛(電報)		広田外務大臣の第六十五回議會演説に關する 中国各紙報道振りにについて	17
二	16	昭和9年1月24日	二九	在ジュネーヴ横山國際會議事務局長代 理兼総領事より 広田外務大臣宛(電報)		我が方連盟脱退確定後の連盟との關係につき 同事務局連絡委員会主任の内話について	39
一	3	昭和9年1月24日	六八	在米國武富臨時代理大使より 広田外務大臣宛(電報)		米國各紙論調について	14
一	1	昭和9年1月24日	合九九	付 記 一月二十三日付 「第六十五回帝國議會ニ於ケル廣田外務大臣演説」		第六十五回議會での広田外務大臣外交演説に 關する本邦各紙論調について	1
一	2	昭和9年1月23日	二〇	在英國松平大使より 広田外務大臣宛(電報)		英國各紙報道振りにについて	13
六	219	昭和9年1月22日	四〇	在ソ連邦大田大使より 広田外務大臣宛(電報)		共産党モスクワ州および市合同會議における 対日關係を重視したカガノヴィッチ演説につ いて	333

八	二	四	九	八	七	六	九	三	八	八	八	六	三	二	八	九
447	18	145	520	417	293	221	483	69	446	416	394	220	68	17	415	482
昭和9年2月15日	昭和9年2月15日	昭和9年2月14日	昭和9年2月10日	昭和9年2月(9)日	昭和9年2月9日	昭和9年2月8日	昭和9年2月7日	昭和9年2月7日	昭和9年2月6日	昭和9年2月6日	昭和9年2月6日	昭和9年2月5日	昭和9年2月5日	昭和9年2月5日	昭和9年2月(4)日	昭和9年2月3日
二一八	四六	機密七九	条一機密 七八	(移牒五五六)	一〇二	欧一機密 一五八	一二	六六	三二八	(移牒五五三)	五六	九鉾局五六	三		(移牒五五二)	九
広田外務大臣より 沢田日印会商代表宛(電報)	在ジュネーヴ横山国際会議事務局局長代 理兼総領事より 広田外務大臣宛(電報)	在サンフランシスコ富井総領事より 広田外務大臣宛	広田外務大臣より 斎藤内閣総理大臣宛	在英国松平大使より 広田外務大臣宛(電報)	在米國武富臨時代理大使より 広田外務大臣宛(電報)	東郷欧米局長より 福田商工省鉾山局長宛	在ブラジル林大使より 広田外務大臣宛(電報)	在仏國佐藤大使より 広田外務大臣宛(電報)	沢田日印会商代表より 広田外務大臣宛(電報)	広田外務大臣より 在英国松平大使宛(電報)	在英國松平大使より 東郷欧米局長宛	福田商工省鉾山局長より 在英國松平大使宛(電報)	在オーストリア松永公使より 広田外務大臣宛(電報)	在ジュネーヴ横山国際会議事務局局長代 理兼総領事より 来栖通商局長宛	在英国松平大使より 広田外務大臣宛(電報)	広田外務大臣より 在ブラジル林大使宛(電報)
飯調印の前提として合意しておくべき事項とそ の対処方策につき訓令	我が方麻薬製造制限条約への宣言付批准は留 保付批准と見なさざるを得ない旨の連盟事務 局アヘン部長の回答について	移民法修正運動の見通しについて	日蘭仲裁裁判条約批准方奏請	今次日英会商の討議方法などに関する双方代 表者打合せと我が方代表の基本的立場について	米國經濟復興政策の進展と米國議會の動向に ついて	北樺太石油株式会社の中官半民への変更に関 しては政府資本が五割を超えない限り問題な しとの外務省側見解について	本邦移民の排斥を目的とした四修正案の通過 阻止に努める方針について	仏國におけるダラディエ内閣打倒運動の勃発 について	非合意事項についてはロンドンにて英本國と 協議することを条件に当地では合意済事項を 取りまとめ飯調印したき旨意見具申	日本および満州國との通商問題に関する英國 下院での討議内容について	北樺太石油株式會社を半官半民に変更するこ との可否につき商工省より照会について	日本紡績連合會による交渉方針決定の事実な きにつき会商前の英國世論善導方訓令	オーストリアの獨立保持問題を中心とした中 欧政局に対する伊國側の各種策動について	國際労働機關事務局次長訪日に際し我が國産 業界の実情を理解せしめるため便宜供与方同 局駐米事務官より要請について	在英國松平大使より 日本紡績連合會が決定したとされる日英会商 交渉方針報道とこれに対する英國側反応ぶり について	在本邦ブラジル大使に対し排日法案に関し注 意喚起について
823	42	201	926	745	510	334	877	106	821	744	713	334	106	40	744	877

七	318	昭和9年3月3日	二八	付記 作成日不明 〔日蘭片貿易調整ニ關スル打合せ(第一回)〕	547
七	295	昭和9年3月3日	一四一	在米外務大臣宛(電報)	514
二	19	昭和9年3月2日	三五	在米外務大臣宛(電報)	43
三	73	昭和9年3月1日	公一三七	在米外務大臣宛(電報)	111
八	450	昭和9年2月27日	三六六	在米外務大臣宛(電報)	829
七	262	昭和9年2月27日	一一五	在米外務大臣宛(電報)	428
六	224	昭和9年2月27日	二九	在米外務大臣宛(電報)	337
八	449	昭和9年2月26日	三六三	在米外務大臣宛(電報)	828
八	448	昭和9年2月26日	三六二	在米外務大臣宛(電報)	826
三	72	昭和9年2月23日	一六	在米外務大臣宛(電報)	110
六	249	昭和9年2月22日	七九	在米外務大臣宛(電報)	399
六	223	昭和9年2月22日	三三	在米外務大臣宛(電報)	336
六	222	昭和9年2月21日	三三	在米外務大臣宛(電報)	335
七	294	昭和9年2月20日	一二四	在米外務大臣宛(電報)	512
三	71	昭和9年2月20日	一七	在米外務大臣宛(電報)	108
三	70	昭和9年2月19日	三九	在米外務大臣宛(電報)	107
二	45	昭和9年2月16日	九一	在米外務大臣宛(電報)	80
別電一 二月十五日発広田外務大臣より沢田日印会商代表宛第二一九号 英国と諸外国間通商関係協定における特惠条項の取扱いについて					824
二 二月十五日発広田外務大臣より沢田日印会商代表宛第二二〇号 インド側条約案中仮調印に際し修正すべき諸点について					825
付記一 二月二十日発在英国安藤大使館付武官より植田参謀次長宛電報第六号 オーストリア独立保全に關する英仏伊三国共同宣言案に對する英国側対応について					109
二 三月六日発在伊国中村大使館付武官より植田参謀次長宛電報第三六号 オーストリア国境方面に展開された伊国陸軍部隊の状況について					109
産業復興法不正競争条項の最初の適用事例となり得る鉛筆問題への我が方協調的態度の有用性について					109
ソ連側による漁区競売時のループル換算率改訂要求および本年度漁区競売状況について					335
北滿鐵道讓渡交渉問題等に關する顏惠慶の講演について					336
北滿鐵道ソ連側職員釈放問題等に關し広田大臣と在本邦ソ連邦大使との会談					399
ベック外相の訪ソ目的などに關し同外相より聞込みについて					110
仮調印の前提として合意すべき事項とその内容につきインド側へ申入れについて					826
對英特惠問題および仲裁裁判問題などに対する妥結方策につき意見具申					828
ソ連側が主張する漁区再競売に我が方が応じる際の条件について					337
別電 二月二十七日発広田外務大臣より在ウラジオストク渡辺総領事宛第三〇号 右条件					338
我が方輸出組合の統制強化方意見具申					428
對英特惠問題および仲裁裁判問題については英本国を動かす必要があるべき旨意見具申					829
独・ポーランド不可侵条約締結に對する仏国各紙の報道振りについて					111
麻薬製造制限条約への我が方留保宣言につき各国の同意取付け後批准奏請の意向につき連盟事務局へ説明方訓令					43
通商互惠協定締結権限付与に關する大統領敎書の議會送付について					514
日蘭会商応諾に關し關係各省と協議中につき現地の事情など査報方訓令					546

1312

六	九	九	二	九	六	八	七	七	七	三	九	九	六	九	八							
228	493	492	20	491	227	457	283	320	319	75	490	489	226	488	456							
昭和9年3月19日	昭和9年3月17日	昭和9年3月17日	昭和9年3月16日	昭和9年3月15日	昭和9年3月15日	昭和9年3月14日	昭和9年3月14日	昭和9年3月13日	昭和9年3月13日	昭和9年3月13日	昭和9年3月12日	昭和9年3月12日	昭和9年3月12日	昭和9年3月11日	昭和9年3月11日							
一三〇	三四	二〇	四〇	五五	八三	一四一	通一機密合 二八九	七一	二〇	本機密四九	四四	四九	一五七	一七	三八三							
在ソ連邦大田大使より 広田外務大臣宛(電報)	広田外務大臣より 在サン・パウロ内山総領事宛(電報)	広田外務大臣より 在ブラジル林大使宛(電報)	別電一 三月十六日発広田外務大臣より在ジュネーヴ横山国際会議事務局長代理兼総領事宛(電報)	在サン・パウロ内山総領事より 広田外務大臣宛(電報)	広田外務大臣より 在ソ連邦大田大使宛(電報)	在英國松平大使より 広田外務大臣宛(電報)	在英國松平大使使宛 通一機密合 二八九	在バタヴィア越田総領事より 広田外務大臣宛(電報)	付記 作成日不明 「日蘭印貿易調査ニ關スル打合せ會(第二回)」	広田外務大臣より 在オランダ武富公使宛(電報)	在ブラジル林大使より 広田外務大臣宛(電報)	在サン・パウロ内山総領事より 広田外務大臣宛(電報)	在中國有吉公使より 広田外務大臣宛(電報)	在ブラジル林大使宛(電報)	沢田日印会商代表より 広田外務大臣宛(電報)							
漁区競売問題およびルールブル換算率改訂問題 に關しソコリニコフ外務人民委員代理との會 見について	今後はブラジル大使と協議の上善処方訓令	排日条項案についてブラジル政府に注意喚起 方訓令	三月十六日発広田外務大臣より在ジュネーヴ横山国際会議事務局長代理兼総領事宛第四一號 右輸出入禁止制限撤廃条約の義務免除宣言	今回の排日問題の背後には米国の関わりがあるとの説について	漁区競売問題に對するソ連側対応の不当性につき在本邦ソ連邦大使へ抗議について	英連邦内特惠問題につき英國としては何等かの方法により当事国を拘束することが必要と考ふる旨外務省極東局長コメントについて	諸外国の本邦品防護措置への通商擁護法などによる對処方策につき訓令	日蘭会商に對する我が方対策につき意見具申	蘭印における本邦品輸入制限の是正および日蘭会商應諾の遅延事情などにつき通商局長よりオランダ公使に申入れについて	蘭印における本邦品輸入制限の是正および日蘭会商應諾の遅延事情などにつき通商局長よりオランダ公使に申入れについて	伊国・オーストリア・ハンガリー三国協約の締結について	「同化」字句の削除同様在留邦人の同化助成等の研究促進を急務とするとの意見具申	對処中との中國外交部次長の内話について	帝國議會において大臣よりブラジル移民と日伯国交についての所見を述べられたしとの意見具申	何等かの形式の下に對英特惠主義を認め會商の妥結を図りたき旨意見具申							
342	886	885	51	50	49	46	46	45	44	884	340	836	487	552	549	548	113	883	882	340	882	835

八	458	昭和9年3月19日	二四四	別 電 三月十九日発広田外務大臣より沢田日印会商代表宛(電報)	我が方接壤国に対する関税処遇を本条約の対象外とすることを条件に対英特惠条項の設定を認めた案文インド側へ提示方訓令	837
八	459	昭和9年3月19日	六三	別 電 三月十九日発広田外務大臣より沢田日印会商代表宛第二四五号	我が方接壤国への関税処遇を対象外とする方策により特惠問題の妥結を図るよう英国政府の尽力を求めべき旨訓令	838
九	494	昭和9年3月19日	五七	付 記 三月十三日在本邦クライブ英国大使より広田外務大臣宛手交 日印協定における対英特惠条項設定方覚書	修正案阻止に関する外務大臣との会談について	839
六	229	昭和9年3月20日	九一	在ソ連邦大使宛(電報)	漁区競売問題に關しソ連側の部分的讓歩につき在本邦ソ連邦大使より申出について	344
九	495	昭和9年3月21日	六〇	在ブラジル林大使より 広田外務大臣宛(電報)	覚書手交時の外務次官との会談について	888
三	76	昭和9年3月22日	二四	在伊国松島大使より 広田外務大臣宛(電報)	オーストリア問題を中心とした中欧情勢に対する關係各國の動向について	116
七	321	昭和9年3月22日	四五	在オランダ武富公使より 広田外務大臣宛(電報)	日蘭会商において日蘭印間の海運問題をも討議したい旨オランダ外務大臣より申越しについて	554
八	460	昭和9年3月22日	三九八	沢田日印会商代表より 広田外務大臣宛(電報)	我が方接壤国への関税処遇を条約対象外とすることを条件とした特惠条項容認案に対しインド側は一方的宣言案を主張について	840
九	496	昭和9年3月22日	二八	別 電 三月十九日発広田外務大臣より沢田日印会商代表宛第二四五号	形勢悪化の状況と推されるにつきこの上はあらゆる手段により努力すべき旨訓令	889

九	497	昭和9年3月22日	六六	在ブラジル林大使より 広田外務大臣宛(電報)	ブラジル政府の議會対策については極秘裡に行なうため同政府を信頼し交渉推移も発表を避けるべきとの意見について	889
八	461	昭和9年3月23日	二五一	別 電 三月十九日発広田外務大臣より沢田日印会商代表宛(電報)	インド側が一方的宣言案に固執する場合には我が方も接壤国への関税処遇に関する一方的宣言により対処すべき旨訓令	842
九	498	昭和9年3月23日	三三	別 電 三月二十四日発広田外務大臣より在ブラジル林大使宛第三六号	情報部長との質疑内容を歪曲しブラジルは満州より良好な移民の捌け口と報道した新聞記者への注意喚起について	891
二	21	昭和9年3月24日	六八	在ジュネーヴ横山國際會議事務局長代理兼總領事より 広田外務大臣宛(電報)	麻薬製造制限条約への我が方留保宣言に関する各國宛連盟側回章および説明案連盟事務局アヘン部長より内示について	51
三	98	昭和9年3月24日	一七	在ルーマニア藤田公使より 広田外務大臣宛(電報)	小協商諸国のソ連邦承認問題等に関するルーマニア外相の談話について	153
九	499	昭和9年3月24日	三五	別 電 三月二十四日発広田外務大臣より在ブラジル林大使宛第三六号	衆議院本会議におけるブラジルの排日条項に関する答弁について	891
四	146	昭和9年3月25日	一八九	在米國齋藤大使より 広田外務大臣宛(電報)	廣田・ハルメッセージ交換に対する米國主要新聞論調について	891
				付 記 一 二月二十一日付 廣田外務大臣よりハル米國國務長官宛メッセージ	廣田・ハルメッセージ交換に対する米國主要新聞論調について	203
				二 右和訳文	廣田・ハルメッセージ交換に対する米國主要新聞論調について	205
				三 三月三日付 ハル米國國務長官より廣田外務大臣宛メッセージ	廣田・ハルメッセージ交換に対する米國主要新聞論調について	207
				四 右和訳文	廣田・ハルメッセージ交換に対する米國主要新聞論調について	209

六	230	昭和9年4月11日	一七六	在ソ連邦大田大使より 広田外務大臣宛(電報)	付記 四月十三日付北樺太石油株式会社より東郷欧米局長宛庶発第三〇号 試掘権延長問題につき利権本部長と交渉について	345
九	523	昭和9年4月10日	五三	在オランダ武富公使より 広田外務大臣宛(電報)	我が方の日蘭仲裁裁判条約批准遅延事情オランダ外相に説明について	928
八	465	昭和9年4月10日	(移牒七)七	広田外務大臣より 沢田日印会商代表宛(電報)	接壤国の範囲およびインド統鉄の取扱いなど 対英特惠条項容認のための我が方条件につき訓令	848
八	464	昭和9年4月8日	四三〇	沢田日印会商代表より 広田外務大臣宛(電報)	接壤国を満州国に限定するなどの方策により 対英特惠問題を解決したいとのインド首席代表私案について	846
三	102	昭和9年4月8日	一六九	在ソ連邦大田大使より 広田外務大臣宛(電報)	ソ連の連盟加入問題につきソコリニコフ外務人民委員代理より事情聴取について	157
九	522	昭和9年4月7日	三三	広田外務大臣より 在オランダ武富公使宛(電報)	我が方における日蘭仲裁裁判条約批准の見通しについて	928
九	502	昭和9年4月6日	四七	広田外務大臣より 在ブラジル林大使宛(電報)	人種的偏見を意味する「同化」という字句を含む条項の制定は両国関係には好ましくならず と在本邦大使への申入れについて	896
八	463	昭和9年4月5日	四二四	沢田日印会商代表より 広田外務大臣宛(電報)	一方的宣言案により対英特惠問題を取りまとめ会商を終了させるべき旨意見具申	845
九	521	昭和9年4月4日	五〇	在オランダ武富公使より 広田外務大臣宛(電報)	日本側の日蘭仲裁裁判条約早期批准を希望するとのオランダ外相申出について	927

八	462	昭和9年4月4日	四二一	沢田日印会商代表より 広田外務大臣宛(電報)	関税処遇を条約対象外とする接壤国を満州国・沿海州などに局限する案につきインド首席代表と協議について	843
七	322	昭和9年4月4日	三〇	別電 四月四日発広田外務大臣より在オランダ武富公使宛第三一号 右回答書趣旨	日蘭会商開催に同意の旨回答方訓令	555
七	298	昭和9年4月4日	四九	在ニュー・ヨーク沢田総領事より 広田外務大臣宛(電報)	米国・南米諸国および我が方間の貿易不均衡調整のため三者間に三角協定を結ぶべしとする我が方通商局長談話報道について	518
三	101	昭和9年3月30日	七二	在ジュネーヴ横山国際会議事務局長代理兼総領事より 広田外務大臣宛(電報)	新聞報道によるソ連の連盟加入条件について	155
三	100	昭和9年3月29日	一九四	在仏国佐藤大使より 広田外務大臣宛(電報)	ソ連から仏国当局に対し連盟加入に関する正式申入れの有無につき仏国外務次官に確認について	154
九	501	昭和9年3月27日	七四	在ブラジル林大使より 広田外務大臣宛(電報)	同化条項削除等の場合も効果少なくかえって状況を悪化させるのみにて交渉は行わない旨意見具申	893
九	500	昭和9年3月26日	三九	広田外務大臣より 在ブラジル林大使宛(電報)	法案よりの同化条項の削除、修正等について交渉方訓令	893
三	99	昭和9年3月26日	五〇	理兼総領事宛(電報)	ソ連の連盟加入問題に関し連盟首脳部等より情報収集方訓令	154

八	397	昭和9年4月22日	二九	在カナダ徳川公使より 広田外務大臣宛(電報)	カナダにおける諸種輸入関係税の賦課状況とこれに対する我が方対処方策について	716
九	526	昭和9年4月21日	五八四	在満州国愛川大使より 広田外務大臣宛(電報)	満州カトリック教区の中国からの分離および在吉林司教の同教区代表就任について	936
七	324	昭和9年4月21日	六三	在オランダ武富公使より 広田外務大臣宛(電報)	日蘭会商を六月四日バタヴィアにて開催および会商終了までの新制限措置禁止に同意のオランダ側回答について	559
九	474	昭和9年4月20日	八二	在独国永井大使より 広田外務大臣宛(電報)	ヒトラー内閣成立以後の日独関係の良好化等 に關しノイラート外相と意見交換について	863
八	471	昭和9年4月19日	四六五	沢田日印会商代表より 広田外務大臣宛(電報)	基本条約案および議定書案の仮調印について	854
八	396	昭和9年4月19日	三七	在ケープタウン藤村領事より 広田外務大臣宛(電報)	南アフリカにおける為替タンピング税賦課改善につき同国関係当局に申入れについて	714
三	103	昭和9年4月18日	一二	在チェッコ・スロヴァキア堀田公使より 広田外務大臣宛(電報)	ソ連の連盟加入は早晚実現する見込みとのベ ネシュ外相の内話について	159
八	470	昭和9年4月17日	四四九	沢田日印会商代表より 広田外務大臣宛(電報)	インド側が対英特惠条項を放棄した以上基本 条約および議定書に速やかに仮調印したき旨 請訓	852
八	469	昭和9年4月17日	四四八	沢田日印会商代表より 広田外務大臣宛(電報)	インド側からの対英特惠条項放棄方申出につ いて	852
八	468	昭和9年4月16日	二七八	広田外務大臣より 沢田日印会商代表宛(電報)	接壤国を満州国に限定することを最終的譲歩 として対英特惠問題の妥結を図るべき旨訓令	851
八	467	昭和9年4月15日	四四四	沢田日印会商代表より 広田外務大臣宛(電報)	我が方の強硬態度および代表帰朝意向に鑑み インド側は対英特惠条項を放棄するのではな いかとの観測について	850
九	503	昭和9年4月14日	九〇	在ブラジル林大使より 広田外務大臣宛(電報)	排日派議員が提出したすべての入移民を最近 五十年間の定着総数の二分に制限する案につ いて	896
六	231	昭和9年4月14日	一八〇	在ソ連邦大田大使より 広田外務大臣宛(電報)	北樺太石油試掘権延長問題への好意的斡旋方 ソコリニコフ外務人民委員代理へ申入れにつ いて	347
八	466	昭和9年4月13日	四三七	沢田日印会商代表より 広田外務大臣宛(電報)	接壤国の範圍およびインド統鉄の取扱いなど 対英特惠条項容認のための我が方条件につき インド首席代表と折衝について	848
七	284	昭和9年4月12日	通一機密合 四一三	広田外務大臣より 在英國松平大使他宛	通商擁護法の解釈および運用に關し注意すべ き諸点について	489
八	395	昭和9年4月11日	一〇	広田外務大臣より 在カナダ徳川公使宛(電報)	我が方輸出減少問題に關し近くカナダ側と交 渉開始したきにつき同問題の主要因と考え得 る同国諸種輸入関係税の賦課状況査方訓令	713
七	323	昭和9年4月11日	三四	広田外務大臣より 在オランダ武富公使宛(電報)	日蘭会商開催受諾の我が方覚書に対するオラ ンダ側回答振り通報並びにコライン首相の訪 蘭印日時繰下げ交渉方訓令	557
				付記 作成日不明 「日蘭會商ニ關スル協議會(第三回)」		558
				付記 九月十二日付中里北樺太石油株式會社社長より東郷欧亜局長宛庶務第七九一 号 北樺太石油株式會社の事業に対するソ連当局の各種圧迫に對し保護方要請に ついて		347
				付記 四月十八日付、ガスベイ司教より謝満州国外交部大臣宛書簡写 法王庁の指示に基づく右措置についての説明		936
				二 四月二十一日付、謝満州国外交部大臣よりガスベイ司教宛書簡写 右措置歓迎の意向伝達および便宜供与方申し出		937

八	419	昭和9年5月7日	二四三	別電 五月七日発在英国松平大使より広田外務大臣宛第二四四号	756
八	400	昭和9年5月7日	機密公七〇 八一	在シドニー村井総領事より 広田外務大臣宛	720
七	263	昭和9年5月7日	通三普通	広田外務大臣より 在サン・パウロ内山総領事宛	431
三	78	昭和9年5月7日	二六六	在仏国佐藤大使より 広田外務大臣宛(電報)	119
二	26	昭和9年5月7日	機密本公 三二一	在ジュネーヴ横山国際会議事務局長代 理兼総領事宛	55
二	25	昭和9年5月7日	七二	在ジュネーヴ横山国際会議事務局長代 理兼総領事宛(電報)	55
八	399	昭和9年5月5日	四二	在カナダ徳川公使より 広田外務大臣宛(電報)	719
八	418	昭和9年5月3日	二二二	在英國松平大使より 広田外務大臣宛(電報)	753
三	77	昭和9年5月2日	二五七	在仏国佐藤大使より 広田外務大臣宛(電報)	117

二	24	昭和9年5月2日	九八	在ジュネーヴ横山国際会議事務局長代 理兼総領事より 広田外務大臣宛(電報)	54
八	428	昭和9年5月1日	四二一	在南京須磨総領事より 広田外務大臣宛(電報)	780
二	23	昭和9年4月28日	九二	在ジュネーヴ横山国際会議事務局長代 理兼総領事より 広田外務大臣宛(電報)	53
九	504	昭和9年4月26日	一一一	在ブラジル林大使より 広田外務大臣宛(電報)	897
九	527	昭和9年4月25日	三四七	在中國有吉公使より 広田外務大臣宛(電報)	937
七	325	昭和9年4月25日	三九	付記 四月十七日付 「日蘭會商ニ關スル協議會(第四回)」	561
八	398	昭和9年4月24日	二二	在ケイプタウン藤村領事宛(電報)	718
二	22	昭和9年4月24日		石川条約局第三課事務官宛	52
七	299	昭和9年4月23日	機密一五二	在ニュー・ヨーク沢田総領事より 広田外務大臣宛	519

24

七	287	昭和9年5月22日	七九	在オランダ武富公使より 広田外務大臣宛(電報)	我が方通商機関拡充方策として在外公館の組織および事務取扱いの調整が必要な意見具呈	492
八	429	昭和9年5月23日	一八	広田外務大臣より 在シドニー村井総領事宛(電報)	オーストラリア副首相との会談要旨について	780
二	46	昭和9年5月24日	軍七四九	ジュネーヴ一般軍縮会議全権より 広田外務大臣宛(電報)	来るべき一般委員会においてソ連が安全保障問題に関する提案を行なうとの情報について	82
九	507	昭和9年5月24日	一三八	在ブラジル林大使より 広田外務大臣宛(電報)	大差による二分制限法案の可決について	901
二	47	昭和9年5月25日	二四	広田外務大臣より ジュネーヴ一般軍縮会議全権宛(電報)	今次一般委員会においてソ連が安全保障条約案を提議するとの報道につき真相査報方訓令	82
五	187	昭和9年5月25日	二七五	在英国松平大使より 広田外務大臣宛(電報)	満州国承認問題をも視野に入れた英国産業連盟の日滿両国への使節団派遣計画に対する我が方対処方請訓	263
七	327	昭和9年5月25日		広田外務大臣より 長岡日蘭會商代表宛(電報)	日蘭會商六日開会日程につき通報について	564
				付記一 作成日不明 「日蘭會商打合せ(第五回)」		565
				二 作成日不明 「日蘭會商打合せ(第六回)」		566
				付記一 作成日不明、情報部第一課加瀬事務官稿 「廣田外務大臣ノ濠洲聯邦親善使節『レーサム』外相接見會談要領(昭和九年五月十二日午前十時)」		782
				二 五月十五日付石黒農林次官より重光外務次官宛九文第三七八号 我が方小麦生産事情などに対するオーストラリア側の諒解取付け方要請		787

七	266	昭和9年5月29日	五八	在アルゼンチン山崎公使より 広田外務大臣宛(電報)	本邦および極東市場開拓のためアルゼンチン 産品輸入為替を公定率にするとの同国農務次 官の談話について	……	448
二	49	昭和9年5月30日	軍七五四	ジュネーヴ一般軍縮会議全権より 広田外務大臣宛(電報)	ソ連の常設的平和會議設置提案には漸次日本 を孤立させる意図があるため今後の成行を注 視すべき旨意見具申	……	84
二	50	昭和9年5月30日	軍七五六	ジュネーヴ一般軍縮会議全権より 広田外務大臣宛(電報)	一般委員會議議における英・仏両国代表者間 の相互批判的演説について	……	85
五	188	昭和9年5月30日	一四四	広田外務大臣より 在英国松平大使宛(電報)	英国産業連盟使節団の我が方および満州国の 実情視察は極めて有意義であるため本件適宜 指導方回訓	……	264
八	430	昭和9年5月31日	普通公 一二七	在香港蘆野総領事代理より 広田外務大臣宛	オーストラリア副首相一行の我が方よりの帰 途香港・広東来訪について	……	789
三	105	昭和9年6月1日	二六〇	在ソ連邦大田大使より 広田外務大臣宛(電報)	ソ連の連盟加入が日ソ関係および日中関係に およびし得る影響に関し注意喚起について	……	161
八	423	昭和9年6月1日	二九一	在英国松平大使より 広田外務大臣宛(電報)	輸入割当量算定の基礎年度改正方我が方申入 れに対する英国側回答について	……	764
二	51	昭和9年6月2日	軍七六二	ジュネーヴ一般軍縮会議全権より 広田外務大臣宛(電報)	安全保障問題につき仏国は欧州の地方的協定 を望むとの同国外相言明について	……	86
六	234	昭和9年6月2日	二四三	在中国若杉公使館一等書記官より 広田外務大臣宛(電報)	中ソ間の諸問題等に関し在中國ソ連邦大使よ り意見聴取について	……	357
七	328	昭和9年6月3日	一	長岡日蘭会商代表より 広田外務大臣宛(電報)	全権一行三日バタヴィア到着日蘭会商代表部 事務所の開設について	……	573
二	28	昭和9年6月4日	一二九	在ジュネーヴ横山国際會議事務局長代 理兼総領事より 広田外務大臣宛(電報)	満州国への麻薬類輸出監督制度に関する中国 提案の連盟アヘン諮問委員会における審議状 況について	……	59
二	52	昭和9年6月4日	軍七六五	ジュネーヴ一般軍縮会議全権より 広田外務大臣宛(電報)	今後の會議運営方法に関する各国主張につい て	……	87
五	189	昭和9年6月5日	二九八	在英国松平大使より 広田外務大臣宛(電報)	使節団派遣に対する英国商相の賛意表明につ いて	……	264
六	235	昭和9年6月5日	一七五	広田外務大臣より 在ソ連邦大田大使宛(電報)	ルーブル換算率改訂交渉開催地モスクワに決 定について	……	358
二	53	昭和9年6月6日	軍七六六	ジュネーヴ一般軍縮会議全権より 広田外務大臣宛(電報)	安全保障問題に対する我が方立場および我が 方対ソ関係などにつき仏国外相と協議につい て	……	88
二	54	昭和9年6月6日	軍七六七	ジュネーヴ一般軍縮会議全権より 広田外務大臣宛(電報)	今後の會議運営に関する議長決議案とこれに 対する仏国代表の反対意見について	……	90
七	329	昭和9年6月6日	一〇	長岡日蘭会商代表より 広田外務大臣宛(電報)	蘭印総督およびランネフト首席代表に会商に 対する我が方意向および声明案提示について	……	574
二	55	昭和9年6月7日	軍七七一	別電一 六月七日發長岡日蘭会商代表より 会商に対する我が方意向 二 六月七日發長岡日蘭会商代表より 右聲明案 ジュネーヴ一般軍縮會議全権より 広田外務大臣宛(電報)	別電一 六月七日發長岡日蘭会商代表より 右聲明案 ジュネーヴ一般軍縮會議全権より 広田外務大臣宛(電報)	……	577
九	531	昭和9年6月7日		別電 六月七日發ジュネーヴ一般軍縮會議全権より 右仏国提案 広田外務大臣より 在タイ矢田部公使宛 付記一 五月二十五日起草、六月二日決裁 日タイ仲裁裁判および調停契約締結に関する高裁案	別電 六月七日發ジュネーヴ一般軍縮會議全権より 右仏国提案 広田外務大臣宛(電報) 日タイ仲裁裁判および調停契約締結に関する高裁案	……	93
						……	956
						……	957

二	62	昭和9年6月18日	五二	在ボーランド伊藤公使より 広田外務大臣宛(電報)	相互援助条約提案などに見られるソ連の反日的外交意図について	98
七	304	昭和9年6月16日	一七四	広田外務大臣より 在米國齋藤大使宛(電報)	米國の産業復興策は我が方にとり影響大であるためその効果および今後の成行などにつき 隨時報告方訓令	524
三	106	昭和9年6月16日	五一	在ボーランド伊藤公使より 広田外務大臣宛(電報)	仏國からエストニアへの欧州諸國間相互援助 条約参加方提議に関する在ボーランド・エス トニア公使の内話について	162
七	303	昭和9年6月14日	三〇八	在米國齋藤大使より 広田外務大臣宛(電報)	大統領への互惠通商協定権限付与に関する現 行關稅法修正案の大統領裁可とハル國務長官 のステートメントについて	523
六	239	昭和9年6月14日	一九二	広田外務大臣より 在ソ連邦大田大使宛(電報)	「留換算率改訂會議經過要録」 作成日、作成局課不明	370
二	61	昭和9年6月14日	三二九	在仏國佐藤大使より 広田外務大臣宛(電報)	日ソ戦争は避けられないとのソ連代表言明に ついて	98
六	238	昭和9年6月13日	合六六九	広田外務大臣より 在仏國佐藤大使、在米國齋藤大使、在 ソ連邦大田大使他宛(電報)	北滿鐵道讓渡交渉および日ソ漁業交渉等の現 状について	362
六	237	昭和9年6月12日	二八〇	在ソ連邦大田大使より 広田外務大臣宛(電報)	ループル換算率改訂交渉開催にあたり交渉中 の現行換算率協定効力に関する我が方対処方 針につき請訓	361

二	60	昭和9年6月12日	一四一	在ジュネーヴ橫山國際會議事務局長代 理兼総領事より 広田外務大臣宛(電報)	米國代表が太平洋方面においては相互援助協 定などの新協定は必要としない旨語ったとの 情報について	98
七	330	昭和9年6月11日	二三	長岡日蘭會商代表より 広田外務大臣宛(電報)	日蘭會商に関するオランダ側大綱の提示につ いて	579
二	59	昭和9年6月11日	軍七八〇	ジュネーヴ一般軍縮會議全權より 広田外務大臣宛(電報)	今次一般委員會決議に基づき各委員會構成に ついて	97
七	302	昭和9年6月9日	一六六	広田外務大臣より 在米國齋藤大使宛(電報)	日米間の貿易調整に関する日本側立場米國へ 申入れ方訓令	522
二	58	昭和9年6月9日	軍七七六	ジュネーヴ一般軍縮會議全權より 広田外務大臣宛(電報)	今次一般委員會において採択された今後の會 議運営方針に鑑み我が方全權部漸次縮小方意 見具申	96
二	57	昭和9年6月9日	軍七七三	ジュネーヴ一般軍縮會議全權より 広田外務大臣宛(電報)	今後の會議運営に関する仏國修正決議案と一 般委員會における同案採択について	95
二	56	昭和9年6月9日	軍二八	ジュネーヴ一般軍縮會議全權宛(電報)	安全保障問題に対する我が方意向につき機會 ある毎に仏國側に説示すべき旨訓令	93
九	512	昭和9年6月8日	八八	在ブラジル林大使宛(電報)	二分制限法通過に関するブラジル政府宛覚書 について	908
六	236	昭和9年6月8日	一八五	在ソ連邦大田大使宛(電報)	ループル換算率改訂交渉における我が方基本 方針につき訓令	360
二			二	六月七日付 矢田部公使持参条約案		958

六	251	昭和9年7月4日	機密六〇五	在奉天蜂谷総領事より 広田外務大臣宛	北満鉄道奉天商業部の閉鎖説について	… 413
三	81	昭和9年7月3日	(脱)	在仏国宮崎臨時代理大使より 広田外務大臣宛(電報)	バルトウー外相のルーマニアおよびユーゴス ラヴィア訪問に関する情報について	… 125
七	307	昭和9年6月30日	機密公 三二四	在米田藤井臨時代理大使より 広田外務大臣宛	米田側手交した日米貿易調整に関する我が 方覚書送付について	… 527
三	109	昭和9年6月30日	三五四	在仏国佐藤大使より 広田外務大臣宛(電報)	仏ソ関係および東欧ロカルノ構想等が我が方 に与える影響につきバルトウー外相より聴取 について	… 164
三	80	昭和9年6月30日	郵三五五	在仏国佐藤大使より 広田外務大臣宛(電報)	仏国を中心とした欧州情勢全般に関する観測 について	… 122
三	108	昭和9年6月29日	三一九	在ソ連邦大田大使より 広田外務大臣宛(電報)	東欧ロカルノ構想に関するリトヴィノフの仏 国記者への談話について	… 163
九	514	昭和9年6月28日	一七三	在ブラジル林大使より 広田外務大臣宛(電報)	覚書の訂正について	… 911
七	306	昭和9年6月28日	三三五	在米田藤井臨時代理大使より 広田外務大臣宛(電報)	銀購買法案の米田議會における可決と大統領 の裁可および今後の政府の対応について	… 527
七	289	昭和9年6月28日	三五〇	在仏国佐藤大使より 広田外務大臣宛(電報)	貿易実務に精通した商務官の配置、属領の情 報収集および対日世論の善導など我が方通商 関係機関拡充方策につき意見具申	… 494
七	268	昭和9年6月27日	七五	在アルゼンチン山崎公使より 広田外務大臣宛(電報)	我が方に対する為替率を九割とするとのアル ゼンチン側意向について	… 450
四	147	昭和9年6月26日	三二五	在米田齋藤大使より 広田外務大臣宛(電報)	極東問題および日米親善の推進などに関する 上院外交委員長談話について	… 211

三	107	昭和9年6月19日	一二二	在独国永井大使より 広田外務大臣宛(電報)	リトヴィノフよりノイラート外相に対する東 欧ロカルノ構想提起について	163
七	267	昭和9年6月19日	四一	広田外務大臣より 在アルゼンチン山崎公使宛(電報)	我が方におけるアルゼンチン産品の購入奨励 に鑑み同国の為替管理緩和と申入れ方訓令	449
三	79	昭和9年6月20日	一二四	在独国永井大使より 広田外務大臣宛(電報)	ヒトラー、ムッソリーニ会談に関する独国紙 の報道振りについて	121
九	513	昭和9年6月20日	九三	広田外務大臣より 在ブラジル林大使宛(電報)	我が方が今後とるべき方針に関する見解につ いて	910
二	29	昭和9年6月21日	普通本公 四二六	在ジュネーヴ横山国際会議事務局長代 理兼総領事より 広田外務大臣宛	麻薬製造制限条約に関する我が方留保連盟事 務総長より通報について	60
七	305	昭和9年6月21日	三二七	在米田齋藤大使より 広田外務大臣宛(電報)	日米間貿易調整に関する我が方申入れとこれ に関する国務長官との会談内容について	525
七	288	昭和9年6月22日	三二〇	在米田齋藤大使より 広田外務大臣宛(電報)	商務官の増員を中心とする我が方通商関係機 関拡充方策につき意見具申	493
二	30	昭和9年6月23日	一五〇	在ジュネーヴ横山国際会議事務局長代 理兼総領事より 広田外務大臣宛(電報)	国際労働総会における日本攻撃回避の状況に ついて	61
七	331	昭和9年6月23日	三三	長岡日蘭会商代表より 広田外務大臣宛(電報)	会商に関する我が方宣言案へのオランダ側回 答接到につきこれに対する我が方回答提出に ついて	581
				別電一 六月二十三日発長岡日蘭会商代表より広田外務大臣宛第三四号 右我が方回答案		582
				二 六月二十四日発長岡日蘭会商代表より広田外務大臣宛第三五号 右我が方宣言案に対するオランダ側回答		586
八	424	昭和9年6月25日	機密三四三	在英国松平大使より 広田外務大臣宛	輸入割当制は最惠国条款に抵触しない旨およ び同制度の実施方に関する英国側回答送付に ついて	765

六	240	昭和9年7月6日	本普通七一	付記 五月五日付在オハ村瀬分館主任より 北樺太石油株式会社社の採掘および試掘に関する年度計画概要報告について	……	381
三	82	昭和9年7月10日	一四三	在独国永井大使より 広田外務大臣宛(電報)	……	126
三	110	昭和9年7月11日	一四五	在独国永井大使より 広田外務大臣宛(電報)	……	166
三	111	昭和9年7月11日	二八	在チェッコ・スロヴァキア堀田公使より 広田外務大臣宛(電報)	……	166
四	148	昭和9年7月11日	五八	在チェッコ・スロヴァキア堀田公使より 広田外務大臣宛(電報)	……	212
三	83	昭和9年7月12日	普通八二	在チェッコ・スロヴァキア堀田公使より 広田外務大臣宛	……	127
三	84	昭和9年7月12日	機密 一〇一八	在ハルビン森島総領事より 広田外務大臣宛	……	129
五	190	昭和9年7月12日	三八〇	在英国松平大使より 広田外務大臣宛(電報)	……	265
八	472	昭和9年7月12日	三八一	在英国松平大使より 広田外務大臣宛(電報)	……	854
付記一 七月二十三日付 「日印通商條約ニ關スル外務當局談」						855
二 七月二十三日外務省発表 日印通商条約の内容について						856
三	112	昭和9年7月13日	三八三	在仏国三谷臨時代理大使より 広田外務大臣宛(電報)	……	167
七	332	昭和9年7月13日	五八	長岡日蘭会商代表より 広田外務大臣宛(電報)	……	589
別電一 七月十三日發長岡日蘭会商代表より 七月七日付オランダ側覚書の概要について						596
二 七月十三日發長岡日蘭会商代表より オランダ側覚書に対する我が方回答						597
三 七月十三日發長岡日蘭会商代表より 我が方委員会設置案						599
三	113	昭和9年7月14日	七四	在伊国岩手臨時代理大使より 広田外務大臣宛(電報)	……	168
三	114	昭和9年7月16日	八一〇	在南京須磨総領事より 広田外務大臣宛(電報)	……	169
三	115	昭和9年7月17日	一五八	在ジュネーヴ横山國際會議事務局長代 理兼総領事より 広田外務大臣宛(電報)	……	169
四	149	昭和9年7月17日	機密一七九	在シカゴ仲内領事代理より 広田外務大臣宛	……	213
五	191	昭和9年7月17日	三九七	在英国松平大使より 広田外務大臣宛(電報)	……	266
七	333	昭和9年7月18日	六六	長岡日蘭会商代表より 広田外務大臣宛(電報)	……	600
四	150	昭和9年7月20日	一〇〇	在ニュー・ヨーク沢田総領事より 広田外務大臣宛(電報)	……	214

36

七	290	昭和9年8月3日	四三六	在英国松平大使より 広田外務大臣宛(電報)	商務官を補佐する副商務官の配属など我が方 通商関係機関拡充策につき意見具申	496
七	338	昭和9年8月2日	六四	別電 八月二日発広田外務大臣より長岡日蘭会商代表宛第六五号 制限令に代る当業者協定などによる対応について	陶磁器輸入制限令実施および海運問題などへの 対応につき訓令	605
五	194	昭和9年8月2日	九六五	在満州国菱刈大使より 広田外務大臣宛(電報)	使節団へのエドワーズ同行について	270
三	118	昭和9年8月2日	六八	在ポランド伊藤公使より 広田外務大臣宛(電報)	東欧ロカールノ構想およびソ連の連盟加入問題 に関しベック外相と意見交換について	172
三	117	昭和9年8月1日	四〇二	在仏国三谷臨時代理大使より 広田外務大臣宛(電報)	東欧ロカールノ条約仏国側原案提示方仏国政務 通商局長へ申入れについて	171
七	337	昭和9年7月31日	九一	長岡日蘭会商代表より 広田外務大臣宛(電報)	陶磁器輸入制限令実施への対抗策として蘭印 向け同品の不売決行方意見具申	603
七	336	昭和9年7月30日	六一	長岡日蘭会商代表宛(電報)	陶磁器輸入制限令による影響微少につき会商 本来の会談に進むべく対応方訓令	602
三	86	昭和9年7月30日	本機密八〇	在オーストリア松永公使より 広田外務大臣宛	オーストリアにおけるナチ暴動事件および同 事件後の中欧情勢見通しについて	133
五	193	昭和9年7月28日	四二七	在英国松平大使より 広田外務大臣宛(電報)	使節団団長との会談内容について	269
七	335	昭和9年7月26日	七六	長岡日蘭会商代表より 広田外務大臣宛(電報)	蘭印における陶磁器輸入制限令発令実施に關 するオランダ側覚書への我が方回答について	601

六	八	七	九	五	五	七	九	九	七		二	七		五	三	八
252	402	342	528	197	196	341	533	532	340		31	339		195	119	401
昭和9年8月15日	昭和9年8月14日	昭和9年8月14日	昭和9年8月11日	昭和9年8月11日	昭和9年8月11日	昭和9年8月10日	昭和9年8月9日	昭和9年8月9日	昭和9年8月9日		昭和9年8月9日	昭和9年8月7日		昭和9年8月4日	昭和9年8月4日	昭和9年8月3日
機密二〇一	三〇	一六	公機密 四〇五	六四三	特情倫敦一	七三	一〇六	一〇五	七〇		条一機密合 三〇九一	九九		機密四二七	四〇六	四三
在ウラジオストク渡辺総領事より 広田外務大臣宛	広田外務大臣より 在シドニー村井総領事宛(電報)	長岡日蘭会商代表より 広田外務大臣宛(電報)	在新京吉沢総領事より 広田外務大臣宛	在中国有吉公使より 広田外務大臣宛(電報)	在英国松平大使より 広田外務大臣宛(電報)	長岡日蘭会商代表宛(電報)	在タイ矢田部公使より 広田外務大臣宛(電報)	在タイ矢田部公使より 広田外務大臣宛(電報)	長岡日蘭会商代表宛(電報)		重光外務次官より 橋本陸軍次官 長谷川海軍次官宛 付記一 八月三十一日付長谷川海軍次官より重光外務次官宛公信官房機密第一九八四号ノ二 一九二九年赤十字条約の批准奏請には異存ないが俘虜条約については追って回答の旨の回答	長岡日蘭会商代表より 広田外務大臣宛(電報)	付記 八月二十五日付磯谷參謀本部第二部長より東郷欧亜局長宛 使節団派遣は今後の英国の対日満外交政策に少なからざる影響を与えるとの 在英国大使館付武官報告書送付について	在英國松平大使より 広田外務大臣宛	在仏国三谷臨時代理大使より 広田外務大臣宛(電報)	在シドニー村井総領事より 広田外務大臣宛(電報)
ソ連側による北滿鉄道問題に関する反日的報道の再燃状況について	今次オーストラリアにおける特定綿糸および綿布関税引上げは我が方綿織物の同国への輸出に影響大につきその緩和を同国政府へ申入方訓令	未晒綿布の輸出統制方オランダ側より申入れについて	満州国におけるカトリック教分布の状況および教区独立の経緯について	使節団の日滿派遣に対する中国英字紙および漢字紙報道振りについて	使節団の派遣に対し好意的な英国紙論調について	海運問題の非公式審議受入れの我が方譲歩に鑑み陶磁器問題の妥結懸慮方訓令	日タイ仲裁裁判条約に関する我が方基礎要綱を外務参議に手交および我が方条約草案提示の是非につき請訓	日タイ仲裁裁判条約に関する我が方要綱中司法的解決の除外にタイ側不満の意向について	陶磁器輸入組合の解散を条件とする同輸入制限令の停止につきオランダ公使より通報について	十月二十六日付岡田内閣総理大臣より広田外務大臣宛公信内閣外甲第七四号 一九二九年赤十字条約の批准裁可について	一九二九年赤十字条約および俘虜条約の批准奏請につき照会	陶磁器問題、海運問題および五十六品種制限令などに関する越田・ランネフト会談について	使節団帰国後の言動は英国世論を相当強く動かし得るため我が方において最大限の優遇と便宜を図るべき旨意見具申	仏国政務通商局長より東欧ロカルノ条約仏国側原案提示について	オーストラリアにおける国内産業保護の観点よりの特定綿糸および綿布の関税引上げについて	
415	725	613	941	282	281	612	964	963	611	65	61	606	280	275	173	724

七	七	四	七	七	四	二	七	四	九	八	七	四	四	三	八	九	四	九	七
311	344	162	310	271	161	32	343	160	476	404	309	159	158	120	403	475	157	534	270
昭和9年8月25日	昭和9年8月24日	昭和9年8月24日	昭和9年8月23日	昭和9年8月22日	昭和9年8月22日	昭和9年8月22日	昭和9年8月21日	昭和9年8月21日	昭和9年8月20日	昭和9年8月20日	昭和9年8月20日	昭和9年8月20日	昭和9年8月20日	昭和9年8月18日	昭和9年8月17日	昭和9年8月16日	昭和9年8月16日	昭和9年8月15日	昭和9年8月15日
三九五	一二九	二三七	二三四	機密八一	三八九	三八八	八三	七〇	九五	五〇	機密二五一	三八二	二二七	合八九二	三三	一七八	六六	八〇	三〇
在米国外務大臣宛(電報)	長岡日蘭会商代表より 在米国外務大臣宛(電報)	在米国外務大臣より 在米国外務大臣宛(電報)	在米国外務大臣より 在米国外務大臣宛(電報)	在モンバサ茂垣領事代理より 在米国外務大臣宛	在米国外務大臣宛(電報)	在米国外務大臣宛(電報)	在米国外務大臣より 長岡日蘭会商代表宛(電報)	在米国外務大臣より 在米国外務大臣宛(電報)	在米国外務大臣より 在米国外務大臣宛(電報)	在米国外務大臣より 在米国外務大臣宛(電報)	在ニュー・ヨーク沢田総領事より 在米国外務大臣宛	在米国外務大臣より 在米国外務大臣宛(電報)	在米国外務大臣より 在米国外務大臣宛(電報)	在米国外務大臣より 在米国外務大臣宛(電報)	付記 八月十五日発レーサム・オーストラリア副首相来電 右オーストラリア副首相来電	在米国外務大臣より 在米国外務大臣宛(電報)	在米国外務大臣より 在米国外務大臣宛(電報)	在米国外務大臣より 在米国外務大臣宛(電報)	在米国外務大臣より 在米国外務大臣宛(電報)
東部長への申入について	フィリピン関税引上げ問題に関する国務省極	オランダ側代表よりサロン輸出停止問題などの審議要請について	在米国外務大臣からの本国政府よりの訓令に基づく事態経過報告について	フィリピンにおける日本品輸入禁遏を目的とした関税引上げは日米親善関係にも累をおよぼすため米政府へ申入れ方訓令	連盟脱退後の東アフリカ地域における我が方通商均等待遇確保のためコンゴ盆地条約存続方意見具申	米国の国際労働機関加入通告について	米国の国際労働機関加入通告について	米国の国際労働機関加入通告について	米国の国際労働機関加入通告について	米国の国際労働機関加入通告について	米国の国際労働機関加入通告について	米国の国際労働機関加入通告について	米国の国際労働機関加入通告について	米国の国際労働機関加入通告について	米国の国際労働機関加入通告について	米国の国際労働機関加入通告について	米国の国際労働機関加入通告について	米国の国際労働機関加入通告について	米国の国際労働機関加入通告について
536	614	231	535	455	231	65	614	613	230	865	727	530	230	229	174	726	865	229	965

日付索引																																	
九	三	六	三	三	七	六	四	七	三	六		六	三	二	三	三		九	五	三	七												
516	127	255	126	125	347	241	152	346	124	254		253	123	33	122	121		535	198	87	345												
昭和9年9月11日	昭和9年9月11日	昭和9年9月10日	昭和9年9月10日	昭和9年9月10日	昭和9年9月8日	昭和9年9月8日	昭和9年9月7日	昭和9年9月6日	昭和9年9月6日	昭和9年9月5日		昭和9年9月5日	昭和9年9月3日	昭和9年9月3日	昭和9年9月2日	昭和9年9月2日		昭和9年8月31日	昭和9年8月30日	昭和9年8月29日	昭和9年8月28日												
二四二	一八八	公機密 二五五	一八六	一一六	一四二	機密二一五	機密公 四三三	九六	七三	公五七三		一〇八八	五四	二一九ノ内	一八九	一八八		機密公 一三五	特情倫敦四	四三七	一三〇												
在ブラジル林大使より 広田外務大臣宛(電報)	在ジュネーヴ横山国際会議事務局長代 理兼総領事より 広田外務大臣宛(電報)	在満州里田中領事より 広田外務大臣宛	在ジュネーヴ横山国際会議事務局長代 理兼総領事より 広田外務大臣宛(電報)	在ジュネーヴ横山国際会議事務局長代 理兼総領事宛(電報)	広田外務大臣より 在ジュネーヴ横山国際会議事務局長代 理兼総領事宛(電報)	在ハイラル米内山領事より 広田外務大臣宛	在米國藤井臨時代理大使より 広田外務大臣宛	広田外務大臣より 長岡日蘭会商代表宛(電報)	在ポーランド伊藤公使より 広田外務大臣宛(電報)	在仏国三谷臨時代理大使より 広田外務大臣宛		在満州國菱刈大使より 広田外務大臣宛(電報)	在ラトヴィア佐久間臨時代理公使より 広田外務大臣宛(電報)	赤木内務省社会局長官より 重光外務次官宛	在英國永井大使より 広田外務大臣宛(電報)	在英國永井大使より 広田外務大臣宛(電報)		在タイ矢田部公使より 広田外務大臣宛	在英國松平大使より 広田外務大臣宛(電報)	在仏国三谷臨時代理大使より 広田外務大臣宛(電報)	長岡日蘭会商代表より 広田外務大臣宛(電報)												
別電 八月二十八日發長岡日蘭会商代表より 右オランダ側覚書概要	付記 昭和八年九月二十一日付在タイ宮崎臨時代理公使より 密公第一七四号 英國人財政顧問の牽制を目的として日本人經濟顧問を大学教授の肩書きでタイに招致する計画について	在獨国永井大使より 廣田外務大臣宛(電報)	在獨国永井大使より 廣田外務大臣宛(電報)	在獨国永井大使より 廣田外務大臣宛(電報)	在獨国永井大使より 廣田外務大臣宛(電報)	在獨国永井大使より 廣田外務大臣宛(電報)	在獨国永井大使より 廣田外務大臣宛(電報)	在獨国永井大使より 廣田外務大臣宛(電報)	在獨国永井大使より 廣田外務大臣宛(電報)	在獨国永井大使より 廣田外務大臣宛(電報)		在獨国永井大使より 廣田外務大臣宛(電報)	在獨国永井大使より 廣田外務大臣宛(電報)	在獨国永井大使より 廣田外務大臣宛(電報)	在獨国永井大使より 廣田外務大臣宛(電報)	在獨国永井大使より 廣田外務大臣宛(電報)		在獨国永井大使より 廣田外務大臣宛(電報)	在獨国永井大使より 廣田外務大臣宛(電報)	在獨国永井大使より 廣田外務大臣宛(電報)	在獨国永井大使より 廣田外務大臣宛(電報)												
北滿鐵道問題など日ソ關係に関する仏國紙論調について	ソ連の連盟加入問題および東欧ロカルノ構想等に対するポーランド側意向につきベック外相より聴取について	海運問題の話し合いを非公式且つ私的なものとして越田総領事に当らしめるよう訓令	自國民保護を目的とした武力行使の正当性に関する前國務次官論説および講演概要について	外蒙騎兵による邦人拉致事件の解決について	サロン輸入制限令に対する我が方修正案などに関する山中顧問とハルト經濟長官との懇談	連盟總會参集の各國代表よりソ連の連盟加入および東欧ロカルノ問題に関し情報収集方訓令	ソ連の連盟加入問題に対するポーランド等の異議について	北滿鐵道讓渡交渉停頓の時節柄關東軍の滿州里渡來が同地ソ連側に多大な影響を与えた件につき報告	ソ連の連盟加入問題に対するポーランドの異議取消について	ブラジルを離任するに当たつての所見について		匪賊の脅威により北滿鐵道は危機的状況とのソ連係官からの情報について	東欧ロカルノ構想はソ連の西方國境のみに適用されるとのラトヴィア國總務法務局長の内話について	連盟脱退通告後の我が方國際労働機關經費分担に関する同事務局長宛文書について	案を獨国外務次官より提示について	東欧ロカルノ條約に関する仏國案および英國案を獨国外務次官より提示について	獨国は東欧ロカルノ構想に反対との同國外務次官の内話について	獨国は東欧ロカルノ構想に反対との同國外務次官の内話について	獨国は東欧ロカルノ構想に反対との同國外務次官の内話について	獨国は東欧ロカルノ構想に反対との同國外務次官の内話について	獨国は東欧ロカルノ構想に反対との同國外務次官の内話について												
917	182	420	181	181	623	386	218	621	180	418		417	179	66	178	176		965	283	135	619												

七	六	四	八	七	二	八	三	三	七	六	三	二	三	六	二	七	六	四
350	242	164	431	291	36	405	130	88	349	258	129	35	128	257	34	348	256	163
昭和9年9月21日	昭和9年9月21日	昭和9年9月21日	昭和9年9月20日	昭和9年9月20日	昭和9年9月19日	昭和9年9月18日	昭和9年9月18日	昭和9年9月18日	昭和9年9月17日	昭和9年9月17日	昭和9年9月17日	昭和9年9月17日	昭和9年9月15日	昭和9年9月14日	昭和9年9月14日	昭和9年9月13日	昭和9年9月13日	昭和9年9月13日
一〇六	公機密 五四五	四一二	五八	条一機密 二二八	二〇三	一五〇	二〇一	機密公 一七五	一〇四	報一機密 五二	特情広東五	一九九	二〇〇	四七二	一九三	一四四	四〇	八〇
長岡日蘭会商代表宛(電報)	広田外務大臣より	在米國藤井臨時代理大使より 広田外務大臣宛(電報)	在シドニー村井総領事より 広田外務大臣宛(電報)	付記一 八月十六日付条約局第一課作成 「工業所有權條約樞府事務局審議經過」 作成日、作成局課不明 「不正競争防止法制定ニ關スル件」	在ジュネーヴ横山國際會議事務局局長代 理兼総領事より 広田外務大臣宛(電報)	在英国松山大使館商務參事官より 広田外務大臣宛(電報)	在ジュネーヴ横山國際會議事務局局長代 理兼総領事より 広田外務大臣宛(電報)	在ポーランド伊藤公使より 広田外務大臣宛	長岡日蘭会商代表宛(電報)	在ウラジオストク渡辺総領事宛	在広東服部総領事代理より 広田外務大臣宛(電報)	在ジュネーヴ横山國際會議事務局局長代 理兼総領事より 広田外務大臣宛(電報)	在ソ連邦大使より 広田外務大臣宛(電報)	在ソ連邦大使より 広田外務大臣宛(電報)	在ジュネーヴ横山國際會議事務局局長代 理兼総領事より 広田外務大臣宛(電報)	別電 九月十三日發長岡日蘭会商代表より 右兩年日本商品の邦商取扱比率	在オハ村瀬分館主任より 広田外務大臣宛(電報)	在ロス・アンジェルス堀領事より 広田外務大臣宛(電報)
海運問題に關する当業者間協議事項および政 府間了解事項案をオランダ側に提示方訓令	ソ連側による在満白系露人と日本側との離間 策動について	國務省極東部長に対し州官憲への注意喚起お よび邦人保護申入れについて	オーストラリア副首相来日の答礼使として我 が方大使級人物の同国往訪報道につきその真 偽照会について	任国政府へ我が方工業所有權保護條約加入通 告方訓令	我が方一般輸出振興上その影響甚大なる電球 の対英輸出統制徹底方意見具申	連盟総会におけるソ連の加入および同国に対 する常任理事国の地位付与決議について	北滿鐵道問題に關するソ連紙の反日報道には 今後とも注意を要する旨指示	ポーランドにおけるソ連側による反日的宣伝 に対抗手段を講じる必要性につき意見具申	蘭印輸入日本品の邦商取扱比率は五十六品 種につき四割を主張し状況により三割五分考 慮方訓令	ソ連の連盟加入後の新情勢に対する中国紙の 報道振りにについて	中国の連盟理事再選要求否決について	少数民族問題に關するポーランド外相声明な ど連盟の現状に關する独国紙論調について	反日的報道取締まりにつき極東部長へ申入れ について	連盟第十五回総会において中国代表が満州問 題に論及について	一九三二および三三年の状況に鑑み日本商品 の邦商取扱総括的比率を四割乃至三割五分 で交渉したい旨請訓	フェニックスにおいて邦人への暴行事件發生 について	モスクワにおいて北滿鐵道問題に關する反日 的報道取締まりにつき交渉すべき旨意見具申	フエニックスにおいて邦人への暴行事件發生 について
627	390	233	790	501	498	497	69	728	184	139	136	69	183	422	69	626	421	232

七	353	昭和9年9月27日	一五八	別電 九月二十七日発長岡日蘭会商代表より 右我が方主張	634
三	135	昭和9年9月27日	二二〇	長岡日蘭会商代表より 広田外務大臣宛(電報)	632
七	272	昭和9年9月26日	二六九	在ブラジル内山臨時代理大使より 広田外務大臣宛(電報)	457
五	199	昭和9年9月26日	二七九	在ジュネーヴ横山国際会議事務局長代 理兼総領事より	284
三	134	昭和9年9月26日	八三	在ジュネーヴ横山国際会議事務局長代 理兼総領事宛(電報)	188
二	40	昭和9年9月26日	二二四	広田外務大臣より 理兼総領事宛(電報)	72
九	477	昭和9年9月25日	七八一	在中國有吉公使より 広田外務大臣宛(電報)	865
七	352	昭和9年9月25日	一五六	長岡日蘭会商代表より 広田外務大臣宛(電報)	631
七	351	昭和9年9月25日	一五五	長岡日蘭会商代表より 広田外務大臣宛(電報)	629
六	259	昭和9年9月25日	機密 一四六〇	在ハルビン森島総領事より 広田外務大臣宛	424

三	133	昭和9年9月25日	二二三	在ジュネーヴ横山国際会議事務局長代 理兼総領事より 広田外務大臣宛(電報)	186
三	132	昭和9年9月25日	二二八	広田外務大臣より 在ジュネーヴ横山国際会議事務局長代 理兼総領事宛(電報)	186
二	39	昭和9年9月25日	二二一	在ジュネーヴ横山国際会議事務局長代 理兼総領事より 広田外務大臣宛(電報)	71
九	536	昭和9年9月24日	機密公 一五〇	在タイ矢田部公使より 広田外務大臣宛	973
四	165	昭和9年9月22日	二五五	広田外務大臣より 在米國藤井臨時代理大使宛(電報)	233
三	131	昭和9年9月22日	二〇七	在ジュネーヴ横山国際会議事務局長代 理兼総領事より 広田外務大臣宛(電報)	184
二	38	昭和9年9月22日	九六三	在南京須磨総領事より 広田外務大臣宛(電報)	70
二	37	昭和9年9月22日	二〇八	在ジュネーヴ横山国際会議事務局長代 理兼総領事より 広田外務大臣宛(電報)	70
八	432	昭和9年9月21日	三七	広田外務大臣より 在シドニー村井総領事宛(電報)	790
				別電 九月二十一日発広田外務大臣より長岡日蘭会商代表宛第一〇七号 右当業者間協議事項案 二 九月二十一日発広田外務大臣より長岡日蘭会商代表宛第一〇八号 右政府間了解事項案	628 628

三	七	七	七	四	五	四	五	五	三	三	七	五	四	八					
354	354	274	273	166	136	355	356	167	200	167	200	201	137	138	312	202	168	406	
昭和9年9月27日	昭和9年9月28日	昭和9年9月28日	昭和9年9月28日	昭和9年9月28日	昭和9年9月28日	昭和9年9月28日	昭和9年9月29日	昭和9年10月1日	昭和9年10月1日	昭和9年10月1日	昭和9年10月1日	昭和9年10月2日	昭和9年10月2日	昭和9年10月2日	昭和9年10月2日	昭和9年10月3日	昭和9年10月4日	昭和9年10月4日	
一六一	二二八	八三	一四〇	二九六	一六二	一六五	別電一	四二六	二	二	二	二	二三四	二三五	四二七	九九七	八八	公一四八	
長岡日蘭会商代表より	在ジュネーヴ横山国際会議事務局長代 理兼総領事より	在ロス・アンジュルス堀領事より	在ブラジル内山臨時代理大使宛(電報)	在トルコ本大使館商務書記官より	長岡日蘭会商代表より	長岡日蘭会商代表より	九月二十九日發長岡日蘭会商代表より 右オランダ側書簡案	在米田藤井臨時代理大使より	在米田藤井臨時代理大使より	在米田藤井臨時代理大使より	在米田藤井臨時代理大使より	在米田藤井臨時代理大使より	在ジュネーヴ横山国際会議事務局長代 理兼総領事より	在ジュネーヴ横山国際会議事務局長代 理兼総領事より	在米田藤井臨時代理大使より	在米田藤井臨時代理大使より	在米田藤井臨時代理大使より	在米田藤井臨時代理大使より	
海運問題に関するオランダ側提案について	ソ連の連盟加入の背景には日本に対する恐怖 があるとのスイス国代表の内話について	排日派や州官憲の動向について	我が方ブラジル産綿花輸入状況について	シリアにおける連盟脱退後の邦品への最高税 率賦課への対応につき意見具申	越田・ヘルデルン私的会談において蘭印輸入 制限品種を一九三三年度輸入金額百万ルピア 以上の品目に局限する我が方原則提示につい て	営業制限令の邦商への不適用に関するオラン ダ側書簡案および我が方返書案について	九月二十九日發長岡日蘭会商代表より 右オランダ側書簡案	我が方よりの邦人生命財産保護方申入れに對 する國務省回答について	晚餐会での我が方大臣使節団歓迎の辞および 同団長挨拶について	使節団の政治的意義などに関する松平英国大 使の私信回付について	九月二十六日付、亜細亞局第三課作成 「英國實業視察團啓發要領(滿洲國ニ關スル分)」	作成日不明、松嶋書記官私見 「滿洲視察英國實業團ノ渡來ニ際シ我通商外交ニ對スル新工作ノ必要」	九月二十八日付磯谷參謀本部第二部長より東郷欧亜局長宛 使節團が對中国政策に関する日英間諒解および協力を提議するとの在英國大 使館付武官報告書送付について	在ジュネーヴ横山国際会議事務局長代 理兼総領事より	在米田藤井臨時代理大使より	在米田藤井臨時代理大使より	在米田藤井臨時代理大使より	在米田藤井臨時代理大使より	
635	189	234	458	458	639	640	641	235	284	288	291	292	297	189	191	536	297	236	730

三	七	七	四	七	四	三	八	七	七	四	五	五	七	七	五	五	三						
91	361	360	171		359	170	90	407	358	313	169	206	205	357	292	204	203	89					
昭和9年10月12日	昭和9年10月11日	昭和9年10月11日	昭和9年10月11日		昭和9年10月10日	昭和9年10月10日	昭和9年10月10日	昭和9年10月9日	昭和9年10月9日	昭和9年10月9日	昭和9年10月9日	昭和9年10月8日	昭和9年10月8日	昭和9年10月5日	昭和9年10月5日	昭和9年10月5日	昭和9年10月5日	昭和9年10月5日					
一〇三	一八八	一八七	四四三		一八一	二七三	四七三	八三	一八〇	一一四	八九	一〇一六	一〇一五	一七四	通一機密合 一四三二	一一八八	一〇〇五	二〇七					
広田外務大臣より 在独国永井大使宛(電報)	長岡日蘭会商代表より 広田外務大臣宛(電報)	長岡日蘭会商代表より 広田外務大臣宛(電報)	在米國藤井臨時代理大使より 広田外務大臣宛(電報)	別電 十月十日発長岡日蘭会商代表より 右我が方品種数量案	長岡日蘭会商代表より 広田外務大臣宛(電報)	在米國藤井臨時代理大使宛(電報)	在仏國三谷臨時代理大使より 広田外務大臣宛(電報)	在ケープタウン藤村領事より 広田外務大臣宛(電報)	長岡日蘭会商代表より 広田外務大臣宛(電報)	在マニラ木村総領事より 広田外務大臣宛(電報)	在ロス・アンジェルス堀領事より 広田外務大臣宛(電報)	広田外務大臣より 在満州國菱刈大使宛(電報)	広田外務大臣より 在満州國菱刈大使宛(電報)	長岡日蘭会商代表より 広田外務大臣宛(電報)	在英國松平大使他宛	在満州國菱刈大使より 広田外務大臣宛(電報)	広田外務大臣より 在満州國菱刈大使宛(電報)	在独國永井大使より 広田外務大臣宛(電報)					
メーメル問題のような機微な歐洲問題には我が方は介入を回避したき旨回訓	海運問題に関する非公式会合においてオランダ側提案に反論について	海運問題に関する非公式会合においてオランダ側提案に反論について	事態解決のため中央政府よりの担当官現地派遣要請方申入れについて		越田・ヘルデルン私的会談において我が方品種数量案の提示およびオランダ側フライパン輸入制限令公布の意向表明について	事態の迅速かつ円満な解決を米國当局に再度申入れ方訓令	仏國側対応について	マルセイユ事件の経過および同事件に対する会談について	南ア羊毛買付問題に関する同國外務次官との会談について	未晒綿布類の輸入量などに関する我が方當業者の最終案オランダ側に提示について	関税引上げ法案に対する米國政府の否定的反応を述べたフイリピン総督公式発表とその政治的背景について	州知事提案の調停委員会が一応の調査後は早急に解決案を策定するよう國務省に口添え要請方稟請	使節團の天皇謁見内定について	エドワーズ覚書案に示された鉄道・港灣事業は滿鉄へ委任済のため同事業への英國資本参画の約言は不可能との陸軍側見解について	蘭印輸入日本商品の邦商取扱比率および品種に関する我が方一括提案について	我が方包括的通商政策につき訓令	我が方皇室における使節團への賜餐振り照会について	英國の對滿投資参画の具体策に言及した滿州國より使節團への覚書案エドワーズより提議について					
141	651	650	239	649	647	238	140	732	646	539	538	237	302	302	301	645	644	503	301	300	300	298	139

九	五	九	八	八	八	七	七	七	七	五	三	八	五	五	七
518	210	517	433	410	409	363	315	275	314	209	92	408	208	207	362
昭和9年10月25日	昭和9年10月25日	昭和9年10月22日	昭和9年10月20日	昭和9年10月20日	昭和9年10月20日	昭和9年10月20日	昭和9年10月19日	昭和9年10月19日	昭和9年10月16日	昭和9年10月16日	昭和9年10月15日	昭和9年10月13日	昭和9年10月13日	昭和9年10月13日	昭和9年10月12日
一五四	特情倫敦 二六	一五一	通一機密 一八八	四〇	四九	一九五	四五二	二九七	四五一	機密九二五	機密 一五八六	一六〇	一一二四	一一二二	一八九
広田外務大臣より 在ブラジル内山臨時代理大使宛(電報)	付記 十月二十四日付日本経済連盟会高島理事より来栖通商局長宛書簡 右委員会設立に関する日本経済連盟会会長と使節団团长との共同声明発表に ついて	在英國松平大使より 広田外務大臣宛(電報)	在シドニー村井総領事宛 在ブラジル内山臨時代理大使宛(電報)	広田外務大臣より 在カナダ徳川公使宛(電報)	在ケイプタウン藤村領事宛(電報)	別電 十月二十日発長岡日蘭会商代表より広田外務大臣宛第一九六号 砂糖に関するオランダ側提案に対する我が方対案	在米國藤井臨時代理大使より 広田外務大臣宛(電報)	在英國松平大使宛(電報)	在米國藤井臨時代理大使より 広田外務大臣宛(電報)	在奉天峰谷総領事より 広田外務大臣宛	在ハルビン森島総領事より 広田外務大臣宛	在英國松山大使館商務参事官より 広田外務大臣宛(電報)	在滿州國菱刈大使より 広田外務大臣宛(電報)	別電 十月十三日発在滿州國菱刈大使より広田外務大臣宛第二一二三三号 右会見録	長岡日蘭会商代表より 広田外務大臣宛(電報)
新任ブラジル大使との打合わせのため排日防 遏および移民制限対策等に関する意見開示方 訓令	日本経済連盟会と英國産業連盟による日英通 商委員会設立に関する英國紙報道振りにつ いて	移民制限法制定の背後にある米國策動説につ き回電方訓令	オーストラリア政府との通商条約締結交渉開 始方訓令	諸種輸入関係税軽減問題など日加貿易の不 均衡は正方策に関する在本邦カナダ公使と我が 方通商局長との会談内容について	南アの邦品排斥ある以上南ア羊毛買付増加困 難なる状況につき注意喚起方訓令	輸出分科委員会における砂糖など對蘭印輸出 に関する我が方案提示について	互恵通商政策に関する國務長官ステートメン トについて	連盟脱退後のアフリカ地域における我が方通 商均等待遇確保のためコンゴ盆地条約の存続 希望につき関係国の意向調査方訓令	日本品への課税引上げ問題に対する米紙論調 について	滿州國門戸開放、滿州國承認問題および對滿 州國クレジット設定方などに関する使節団員 内話について	ユーゴスラヴィア國王暗殺事件に対する在ハ ルビン白系露人の反応について	二國間貿易均衡化が困難な状況下においては 三國ないし四國間での貿易均衡化を図るべき 旨意見具申	滿州國への英國資本投資につき具体的成果を 得たいとの使節団意向について	英國資本投資に関する具体的辞句を避けた滿 州國側と使節団側との会見録作成について	輸出分科会第一回会合におけるフライパン輸 入制限令の修正に関する我が方主張および砂 糖購入に関するオランダ側提案について
919	310	918	790	734	733	661	658	540	539	306	141	732	306	305	654

二	41	昭和9年11月12日	二五二	別電 十月三十一日発長岡日蘭会商代表より 右輸入数量に関するオランダ側対案	別電 十月三十一日発長岡日蘭会商代表より 右輸入数量に関するオランダ側対案	74
七	278	昭和9年11月8日	二九四	在米国外務大臣宛(電報)	在米国外務大臣宛(電報)	473
三	94	昭和9年11月8日	五一三	在仏国外務大臣宛(電報)	在仏国外務大臣宛(電報)	148
七	277	昭和9年11月6日	通一機密合 一五九六	在米国外務大臣宛(電報)	在米国外務大臣宛(電報)	462
二	63	昭和9年11月5日	軍八〇六	ジュネーヴ一般軍縮会議全権より	ジュネーヴ一般軍縮会議全権より	100
三	93	昭和9年11月2日	公七二〇	在仏国外務大臣宛(電報)	在仏国外務大臣宛(電報)	145
七	276	昭和9年11月1日	機密三四三	在独国外務大臣宛(電報)	在独国外務大臣宛(電報)	460
七	368	昭和9年10月31日	二二二	長岡日蘭会商代表より	長岡日蘭会商代表より	670
七	367	昭和9年10月31日	二二九	長岡日蘭会商代表より	長岡日蘭会商代表より	668
十一月						667

七	366	昭和9年10月31日	二二七	長岡日蘭会商代表より	長岡日蘭会商代表より	665
四	172	昭和9年10月31日	四七〇	在米国外務大臣宛(電報)	在米国外務大臣宛(電報)	240
九	519	昭和9年10月29日	米二機密合 四三九二	重光外務次官より 小栗警視總監他宛	重光外務次官より 小栗警視總監他宛	923
五	212	昭和9年10月29日	三〇八	在米国外務大臣宛(電報)	在米国外務大臣宛(電報)	313
五	211	昭和9年10月29日	三〇六	在米国外務大臣宛(電報)	在米国外務大臣宛(電報)	312
四	153	昭和9年10月29日	四九	付記 十月二十四日付、情報部第一課加瀬事務官稿 「天羽情報部長ト米国記者團懇談會談話要領」	付記 十月二十四日付、情報部第一課加瀬事務官稿 「天羽情報部長ト米国記者團懇談會談話要領」	221
八	411	昭和9年10月27日	八五	在米国外務大臣宛(電報)	在米国外務大臣宛(電報)	735
七	365	昭和9年10月26日	二二二	長岡日蘭会商代表より	長岡日蘭会商代表より	663
七	364	昭和9年10月26日	二二〇	長岡日蘭会商代表より	長岡日蘭会商代表より	663
付記一				右事情報告	右事情報告	919
二				作成日不明、亜米利加局第二課試案 「伯國憲法ノ外國移民二分制限條項實施對策」	作成日不明、亜米利加局第二課試案 「伯國憲法ノ外國移民二分制限條項實施對策」	922
付記一				十月三十一日発在ブラジル内山臨時代理大使より 広田外務大臣宛電報第三一 号	十月三十一日発在ブラジル内山臨時代理大使より 広田外務大臣宛電報第三一 号	919

七	376	昭和9年11月24日	二四五	長岡日蘭会商代表より 広田外務大臣宛(電報)	関係者協議の結果蘭印砂糖買付けは明年以降 三カ年合計五十万噸およびその販路は海外で の条件で交渉方訓令	672
七	372	昭和9年11月20日	二三七	長岡日蘭会商代表より 広田外務大臣宛(電報)	バルト協商成立が欧州情勢にもたらした影響 について	676
七	371	昭和9年11月20日	一五二	長岡日蘭会商代表宛(電報)		675
二	65	昭和9年11月20日	軍八〇七	ジュネーヴ一般軍縮会議全権より 広田外務大臣宛(電報)	議長の会議議事進行方法変更提案に対する幹 部会各国代表の賛意表明について	101
四	154	昭和9年11月19日	機密三三八	在ニュー・ヨーク沢田総領事より 広田外務大臣宛	元本邦大学学長による移民法修正活動につい て	225
三	96	昭和9年11月17日	五二九	在仏国三谷臨時代理大使より 広田外務大臣宛(電報)	マルセイユ事件に対するユーゴスラヴィアの 連盟提訴問題に関する情報について	150
二	64	昭和9年11月17日	軍四三	広田外務大臣より ジュネーヴ一般軍縮会議全権宛(電報)	議長の会議議事進行方法変更提案に関し今後 の会議議事方法については大勢に順応すべき 旨訓令	100
七	370	昭和9年11月15日	二三四	長岡日蘭会商代表より 広田外務大臣宛(電報)	買付け砂糖再輸出および制限品目問題などへ の対応につき請訓	674
七	279	昭和9年11月15日	通一機密 一七八	広田外務大臣より 在仏国三谷臨時代理大使宛	シリアなど仏国委任統治地域における我が方 連盟脱退後の通商均等待遇確保方策につき仏 国当局者の意向探查方訓令	473
五	213	昭和9年11月13日	通一機密 一三八	広田外務大臣より 在英国松平大使宛	英国鉄鋼会社を代表する使節団員と我が方商 社との鉄材売買契約成立について	314
三	95	昭和9年11月13日	六八	在ラトヴィア佐久間臨時代理公使より 広田外務大臣宛(電報)		149
七	369	昭和9年11月12日	一四七	広田外務大臣より 長岡日蘭会商代表宛(電報)		672

七	373	昭和9年11月22日	一五四	広田外務大臣より 長岡日蘭会商代表宛(電報)	オランダ側が砂糖再輸出制限を固執する場合 には基準量以上の買付けに特別輸入ライセン ス方式導入を代案として交渉方訓令	677
七	374	昭和9年11月22日	二三九	長岡日蘭会商代表より 広田外務大臣宛(電報)	神戸会商の比率による往航積荷実施との我が 方船会社の意向に鑑みオランダ側当業者の神 戸会商再開受託促進方ヘルデルンに申入れに ついて	679
七	375	昭和9年11月22日	二四〇	長岡日蘭会商代表より 広田外務大臣宛(電報)	サロン輸入総量増加の可能性および暫定的輸 入制限公布の事情などにつき報告	681
九	537	昭和9年11月23日	一七一	在タイ矢田部公使より 広田外務大臣宛(電報)	タイ国王退位問題に関する報告および日本の タイ現政府支援の必要性につき意見具申	974
四	178	昭和9年11月24日	一六五	在ニュー・ヨーク沢田総領事より 別電 十一月二十四日発在ニュー・ヨーク沢田総領事より 右決議中の当該箇所	タイの政情に関する英国の対日的策動について	975
四	177	昭和9年11月24日	一六四	在ニュー・ヨーク沢田総領事より 別電 十一月二十四日発在ニュー・ヨーク沢田総領事より 右決議中の当該箇所	日米通商協議会議長より全米貿易評議会の日 本・中国・フィリピンへの経済調査使節派遣 計画に対する我が方意向照会について	246
七	376	昭和9年11月24日	二四五	長岡日蘭会商代表より 別電 十一月二十四日発在ニュー・ヨーク沢田総領事より 右決議中の当該箇所	全米貿易評議会決議中の経済使節派遣に関す る箇所について	247
七	373	昭和9年11月22日	一五四	広田外務大臣より 長岡日蘭会商代表宛(電報)	一九三四年十五万噸、協定期間内三十万噸の 砂糖買付および十万噸以上の輸出制限とのオ ランダ側提案について	683

七	384	昭和9年12月11日	二八一	長岡日蘭会商代表より 広田外務大臣宛(電報)	我が方総括提案ランネット代表に手交について	695
七	383	昭和9年12月11日	一二二	別電 十二月十一日発広田外務大臣より長岡日蘭会商代表宛第七三三号 右基本原則		694
七	280	昭和9年12月11日	機密二三九	広田外務大臣宛		475
四	155	昭和9年12月8日	機密三三九	在ベルギー有田大使より 広田外務大臣宛	コング盆地条約改訂問題に関するイーマンス 外相および外務省係官との会談について	226
五	214	昭和9年12月7日	五五八	在英国松平大使より 広田外務大臣宛(電報)	移民問題に関する元本邦大学学長と国務長官 および同省極東部長との会談について	317
七	382	昭和9年12月5日	二六六	別電 十二月五日発長岡日蘭会商代表より広田外務大臣宛第二六七号 会商中止の場合の善後措置などに関する越田・ヘルデルン会談について		690
七	381	昭和9年12月4日	一六二	長岡日蘭会商代表宛(電報)	我が方砂糖当業者の事情に鑑み三年五十万噸 再輸出制限なしで交渉方指示について	688
七	316	昭和9年12月(2)日	五三三	在米國齋藤大使より 広田外務大臣宛(電報)	国務長官の互惠通商理論に対する輸出入銀行 総裁の反対論について	541
七	380	昭和9年12月1日	二六三	長岡日蘭会商代表より 広田外務大臣宛(電報)	日本商人の蘭印における輸入比率に関する我が 方最終提案について	686
一	8	昭和9年12月1日	二二九	在独國杉下臨時代理大使より 広田外務大臣宛(電報)	広田外務大臣の第六十六回議會演説などに関 するゾルゲの反日的通信記事について	28
一	7	昭和9年12月(1)日	特情巴里 五一	在仏國三谷臨時代理大使より 広田外務大臣宛(電報)	広田外務大臣の第六十六回議會演説に関する 仏國各紙報道振りについて	28

七	377	昭和9年11月24日	一五七 広田外務大臣より 長岡日蘭会商代表宛(電報)	品種・數量に関する我が方提案につき訓令 ………684
三	139	昭和9年11月26日	五四五 在仏国三谷臨時代理大使より 広田外務大臣宛(電報)	東欧ロカルノ構想、ザール問題等への仏国の 対応に関する諸情報について ………193
七	378	昭和9年11月27日	一五八 長岡日蘭会商代表宛(電報)	海運問題民間協議開催のためのオランダ側提 示条件への対応につき訓令 ………684
三	140	昭和9年11月28日	五四七 在仏国三谷臨時代理大使より 広田外務大臣宛(電報)	仏ソ相互援助条約交渉の進捗状況に関する情 報について ………194
八	425	昭和9年11月28日	三二八 広田外務大臣より 在英国松平大使宛(電報)	東アフリカの関税引き上げは日英関係に悪影 響を及ぼすため本件緩和につき関係政庁へ申 入れ方訓令 ………768
七	379	昭和9年11月29日	二五八 長岡日蘭会商代表より 広田外務大臣宛(電報)	海運問題に関する神戸当業者会商開催にオラ ンダ側同意について ………685
一	6	昭和9年11月30日	五三四 在米国斎藤大使より 広田外務大臣宛(電報)	広田外務大臣の第六十六回議會演説に関する 米国各紙報道振りにについて ………19
二	42	昭和9年11月30日	半公信 栗山条約局長より 在満州国谷大使館参事官宛	満州国赤十字社の国際赤十字加入問題に関す る同国際委員会事務総長との会見録送付につ いて ………75
十二月			付記 十一月三十日付 「第六十六回帝國議會ニ於ケル廣田外務大臣演説」	………21

五	215	昭和9年12月20日	特情倫敦 五二	付記一 十二月十一日付満州国外交部顧問エドワーズより重光外務次官宛書簡写 使館団接遇に対する謝辞および満州国石油専売問題などについて	… 319
四	181	昭和9年12月21日	一八一	在米通商協議会議長より全米貿易評議会経済使節団派遣計画の概要内示とこれに対する我が方意向照会について	… 252
四	176	昭和9年12月19日	五六三	在米通商協議会議長より全米貿易評議会経済使節団派遣計画について	… 244
七	391	昭和9年12月18日	一八七	長岡日蘭会商代表より サロン積止め解除の決定について	… 710
四	180	昭和9年12月18日	亜一機密合 一七六九	在満州国菱刈大使、在中国有吉公使、 節団派遣計画について	… 249
四	156	昭和9年12月18日	五五九	在米通商協議会議長より全米貿易評議会経済使節団派遣計画について	… 228
三	141	昭和9年12月18日	三〇五	在米通商協議会議長より全米貿易評議会経済使節団派遣計画について	… 196
七	390	昭和9年12月17日	三〇四	長岡日蘭会商代表より 我が方総括提案に対するオランダ側回答覚書および海運問題に関するJ社基本条件などについて	… 706
七	389	昭和9年12月17日	三〇一	別電 十二月十七日発長岡日蘭会商代表より オランダ側案文に我が方意向を取入れた会商休会の宣言案了承方請訓	… 705
六	260	昭和9年12月17日	七九七 九水	別電 十二月十五日発長岡日蘭会商代表より 北満鉄道譲渡代償物資として漁業用品を輸出する際には農林省において事前研究要望について	… 426

四	175	昭和9年12月16日	一〇四	在ロス・アンジェルス堀領事より 事件が共産主義者の活動に基づくものとの米側情報に対する調査結果について	… 244
七	388	昭和9年12月15日	二九七	別電 十二月十五日発長岡日蘭会商代表より 我が方総括提案に対するオランダ側回答覚書の内示について	… 701
七	387	昭和9年12月15日	二九六	長岡日蘭会商代表より 新サロン輸入制限令の公布実施について	… 700
七	386	昭和9年12月15日	二九五	長岡日蘭会商代表より J社による民間会商基本条件提示につきオランダ側当局に抗議について	… 699
七	385	昭和9年12月15日	一八四	長岡日蘭会商代表より 未晒綿布積止めの解除条件として邦商割当比率を五〇%とするなどの我が方当業者決定について	… 698
四	174	昭和9年12月15日	六〇	付記 十二月十二日付 在本邦米国外交部大使館ネヴィル参事官手交メモ	… 242
四	173	昭和9年12月15日	三二八	在米通商協議会議長より全米貿易評議会経済使節団派遣計画の概要内示とこれに対する我が方意向照会について	… 241
九	478	昭和9年12月14日	機密公 三五三	在伊国杉村大使より 今次事件が共産主義者の活動によるものとの米側通報に關し情報報告方訓令	… 866
三	97	昭和9年12月14日	五七五	在伊国佐藤大使より 日伊關係全般に關するムッソリーニとの会談について	… 151
四	179	昭和9年12月12日	一七五	在ニューヨーク沢田総領事より 當地アジア協会による中国への使節団派遣計画につき我が方憂慮表明について	… 247
				別電 十二月十一日発長岡日蘭会商代表より 我が方総括提案口頭説明要領	… 696

二	43	昭和9年12月28日	一六〇	在オランダ武富公使より 広田外務大臣宛(電報)	安達常設国際司法裁判所判事の死去について	77
七	281	昭和9年12月26日	一二五	付記 十月十三日付、作成局課不明 「日獨間貿易調制ニ關スル私見」	輸入制限問題に関し独国側へ抗議方訓令	476
九	479	昭和9年12月24日	機密三六一	在伊国杉村大使より 広田外務大臣宛	伊国、エチオピア国間の対立に際し我が方の 好意的態度を求める在伊国エチオピア国代理 公使の内話について	870
九	538	昭和9年12月22日	一三八	付記一 十二月八日付重光外務次官より長瀬農林次官宛公信通二機密第六〇八号 タイ碎米輸入許可につき詮議方照会について	十二月十四日付長瀬農林次官より重光外務次官宛公信九米第五〇一七号 タイ碎米輸入制限緩和につき検討の見込みについて	978
七	392	昭和9年12月22日	一九四	広田外務大臣より 長岡日蘭会商代表宛(電報)	代表帰国に際し両国代表部による折衝継続の 旨蘭印総督などに説明方訓令	710
六	243	昭和9年12月21日	五八四	在仏国佐藤大使より 広田外務大臣宛(電報)	日ソ関係の諸問題等に関し仏国新外相と意見 交換について	391
				三 昭和十年一月二十九日付重光外務次官より満州国外交部顧問エドワーズ宛書 簡写 使節団報告書に対する日本側評価および満州国石油専売問題について		321
				二 十二月二十一日付満州国外交部顧問エドワーズより重光外務次官宛書簡写 使節団報告書の各方面における評価などについて		320

四	182	昭和9年12月28日	一〇七	付記 四月付小林条約局第一課長私見 「聯盟脱退後ニ於ケル國際司法裁判所ニ對スル方針ニ付イテ」	………	77	
四	183	昭和9年12月28日	一〇八	広田外務大臣より 在ニューヨーク沢田総領事宛(電報)	日本經濟連盟の意向として經濟使節團派遣の主眼を日本視察とすべく米國側へ申入れ方訓令	………	253
九	529	昭和9年12月28日	合二三二	広田外務大臣より 在伊國杉村大使 在カナダ徳川公使宛(電報)	經濟使節團人選上の留意点について	………	253
九	530	昭和9年12月28日	欧二機密八	付記 作成日、作成局課不明 「奄美大島ニ於ケル加特利教壓迫問題」	奄美大島カトリック教団事件發生の特殊事情および我が方の信教の自由尊重方針に変更がない旨説明	………	945
二	44	昭和9年12月29日	一六一	広田外務大臣より 在本邦マレラローマ法王庁使節宛	奄美大島カトリック教団事件の事情説明および日本人宣教師派遣差控えの必要性につき伝達	………	951
				付記一 昭和十年三月十六日付、在本邦マレラローマ法王庁使節より広田外務大臣宛書簡 右事件に関し各國から法王庁への問合わせ増加と奄美大島への日本人宣教師至急派遣の必要性について	………	953	
				二 作成日、作成局課不明 「奄美大島反カトリック教事件」	………	954	
				在オランダ武富公使より 広田外務大臣宛(電報)	安達常設國際司法裁判所判事の葬儀について………	79	

日付索引

大蔵省財政史室所蔵史料より補填・採録した文書に付されている移牒番号は、日印会商などに関し外務省より回覧された文書に大蔵省側が付したものであり、電信・書信番号とは異なるが、便宜上カッコを付して本欄に記した。